

令和4年 議会報告・意見交換会

報 告 書

◆開催日時, 会場, 参加者数, 出席議員(地域での開催)	1~2	ページ
◆委員会, 団体名, 開催日時, 会場, 参加者数(団体との開催)	3	ページ
◆質問・意見・要望の要旨, 回答の要旨(地域での開催)	4~20	ページ
◆提言書としていただいたご意見等(地域での開催・公募)	21~30	ページ
◆質問・意見・要望の要旨, 回答の要旨(団体との開催)	31~43	ページ
◆参加者アンケート集計表, アンケートでの意見・要望等	44~53	ページ

◆令和4年 議会報告・意見交換会 開催日時, 会場及び参加者数(地域での開催)

12会場 参加者総数 159名

	開催日	時間	地域	会場	参加者数
1	7月12日 (火)	午後7時～8時30分	古川	大崎市図書館	15
2			松山	松山公民館	16
3	7月13日 (水)	午前10時～11時30分	古川	地域交流センター	8
4	7月14日 (木)	午後2時～3時30分	古川	パレットおおさき	12
5		午後7時～8時30分	古川	パレットおおさき	3
6		午後7時～8時30分	鳴子温泉	鳴子総合支所(公民館)	18
7	7月15日 (金)	午後7時～8時30分	古川	古川富永地区公民館	10
8			田尻	大貫公民館	6
9	8月19日 (金)	午後7時～8時30分	三本木	三本木総合支所	13
10			岩出山	岩出山総合支所	17
11	8月23日 (火)	午後7時～8時30分	鹿島台	鹿島台総合支所	12
12	8月29日 (月)	午後7時～8時30分	古川	西古川地区公民館	29
計					159

参考	平成29年度	25会場	476名(1会場あたり平均 19.04名)
	平成30年度	25会場	480名(1会場あたり平均 19.20名)
	令和元年度	12会場	225名(1会場あたり平均 18.75名)
	令和2年度	11会場	161名(1会場あたり平均 14.64名)
	令和3年度	12会場	172名(1会場あたり平均 14.33名)
	令和4年度	12会場	159名(1会場あたり平均 13.25名)

◆出席議員(地域での開催)

(敬称略)

開催日	会場	班長	副班長	班員			
7月12日 (火)	大崎市図書館	小沢和悦	中鉢和三郎	佐藤講英	鎌内つぎ子	加川康子	佐藤勝
	松山公民館	富田文志	鹿野良太	木内知子	相澤久義	法華栄喜	横山悦子
7月13日 (水)	地域交流センター	小沢和悦	佐藤仁一郎	八木吉夫	藤本勘寿		遊佐辰雄
7月14日 (木)	パレットおおさき	鹿野良太	富田文志		加川康子	小玉仁志	木内知子
	パレットおおさき	只野直悦	佐藤弘樹	早坂憂	石田政博	鎌内つぎ子	八木吉夫
	鳴子総合支所	中鉢和三郎		後藤錦信	小嶋匡晴	遊佐辰雄	相澤久義
7月15日 (金)	古川富永地区公民館	木村和彦	中鉢和三郎	佐藤勝	伊勢健一	横山悦子	早坂憂
	大貫地区公民館	富田文志	只野直悦	八木吉夫	小嶋匡晴	法華栄喜	氏家善男
8月19日 (金)	三本木総合支所	佐藤仁一郎	佐藤弘樹	相澤久義	伊勢健一	藤本勘寿	早坂憂
	岩出山総合支所	木村和彦	小沢和悦	木内知子	山田匡身	石田政博	遊佐辰雄
8月23日 (火)	鹿島台総合支所	佐藤弘樹	只野直悦	山田匡身	鎌内つぎ子	佐藤講英	伊勢健一
8月29日 (月)	西古川地区公民館	佐藤仁一郎		氏家善男	後藤錦信	小玉仁志	佐藤講英

関 議長 7/12(松山公民館), 7/13(地域交流センター), 8/19(岩出山総合支所), 8/29(西古川公民館)

◆令和4年 議会報告・意見交換会 委員会, 団体名, 開催日時, 会場及び参加者数(団体との開催)

11団体 参加者総数 86名

委員会	団体名	開催日	時間	会場	参加者数
総務	多様な学びを共につくる・宮城ネットワーク	7月28日 (木)	午後1時30分～	三本木庁舎・委員会室2	4
	家庭教育支援チーム おおさき	8月29日 (月)	午後1時30分～	地域交流センター 研修室1	7
	大崎市スポーツ少年団	8月30日 (火)	午後7時～	古川総合体育館	13
民生	大崎市医師会	7月28日 (木)	午後6時30分～	地域交流センター 研修室1・2	5
	ろうあ福社会	7月29日 (金)	午後1時～	図書館・研修室3	10
産業	古川商工会議所 女性会	8月8日 (月)	午前10時～	地域交流センター 研修室1	5
	古川中心市街地 5町商店街連絡調整会 議	8月8日 (月)	午後7時～	七日町集会所	10
	J A 古川・女性部	8月23日 (火)	午前9時30分～	地域交流センター 研修室2	11
建設	大崎建設職組合	7月28日 (木)	午後3時～	三本木庁舎・全員協議会室	7
	宮城県建設業協会 大崎支部	8月8日 (月)	午後2時～	大崎建設産業会館	7
	古川電気工事協同組合	8月18日 (木)	午後1時45分～	古川電気工事協同組合事務所	7
計					86

令和4年 議会報告・意見交換会（地域での開催）

【質問・意見・要望の要旨，回答の要旨】

テーマ：アフターコロナにおける
 ①…地域経済回復及び活性化策
 ②…子育て支援策（宮城県において合計特殊出生率1.15）～議会に期待すること～
 ③…その他

凡例
 所管委員会等：議運…議会運営委員会
 総務…総務常任委員会
 民生…民生常任委員会
 産業…産業常任委員会
 建設…建設常任委員会
 情報化…情報化対策特別委員会
 コロナ…新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果，対応状況 など	所管委員会等
1	大崎市図書館	①	新型コロナウイルス感染症による経済の疲弊状況がつかみかねている。議員からみた現状はどうか。また，経済活性化をどのように考えているのか知りたい。	人が集まる機会が減少していたが，最近徐々に飲食店に人が戻ってきている印象がある。しかし，飲食店における来客状況は，二極化しているように見受けられる。キャッシュレス対応をしている店舗の集客状況が良い様子であるため，そうした支援を市に求めていく。	委員会の調査において提案する。	コロナ
2	大崎市図書館	①	水田利活用交付金について，5年後に廃止されると理解しているのだが，決定事項であるのか確認したい。	決定事項ではない。本市施策の再度見直しをして欲しいと関係各所と連携し要望を出していく。既に畦畔を外した市内の転作田の面積からすると，約20億円が農家に入らなくなるということが大問題だ。交付金を3,050億円から増額させないと決めて，削るのは許せない。	【担当課確認】 生産現場の実情をよく把握した上で政策決定するよう，関係機関と共に国に強く意見・要望を行っており，今後の国の動向に注視しながら対応していく。	産業
3	大崎市図書館	③	昨今，がん治療等により尿パット等を使用する男性も増加し，男性用トイレでの処理の苦慮するケースが見受けられることから，男性用トイレにサンタリーポッドを配置してほしい。	民生常任委員会において，議論し提案していきたい。	【担当課確認】 本年8月に本庁舎及び各総合支所の多目的トイレに女性用のサンタリーボックスとは別に男性用の大きめのサンタリーボックスを設置した。	総務 民生
4	大崎市図書館	③	高齢者が立ち上がる際の補助として，公共トイレの和式に手すりを設置してほしい。	昨年，コロナウイルスの対策として公共施設のトイレは洋式化を行ったはずであるが，和式トイレのままであれば，手すりは必要と思うので調査し対応したい。	【担当課確認】 トイレの洋式化率は公民館施設で86%，体育施設で98%以上であり，教育施設等も含め，公共施設のトイレは和式から様式への改修が進んでいる。	総務 民生 コロナ
5	大崎市図書館	②	中学校ではいじめが多く，欠席者数が多い状況と認識している。フリースクールもあるが，フリースクールではしっかりとした教育が行われているのか。富谷市の取組はいいと思うがどうか。	不登校のフリースクールでは，自立を重要視している。まず，「ここにいていい」という居場所を提供し，安堵感を確立する。その後よりよくなっていく方向を目指していくと理解している。富谷市が始めた取組は，注目に値するので，総務常任委員会として学びにいく予定である。	総務常任委員会では，昨年度に引き続き本年7月に市内のフリースクール3団体の皆様と意見交換をさせていただき，フリースクールの実情等についての把握に努めてきた。また，10月には富谷市の不登校特例校富谷中学校西成田教室の取組について視察をしたところであり，先進地の取組も参考に，本市の不登校施策について提言等を行っていく。	総務
6	大崎市図書館	②	フリースクールについて，どのような支援をしているのか。義務教育は無料だが，フリースクールは何万円と負担しなければならない。説明会をすべきではないのか。	6月議会で，要件を満たすフリースクールのスタッフ人件費の一部を支援する予算措置を行った。	フリースクール等民間施設との連携及び児童生徒への支援については，大崎市子どもの心のケアハウスに登録制の支援員を配置し，市内のフリースクール等民間施設を利用する児童生徒に対し，学習支援，カウンセリング業務を行い，学校以外で安心して学び，生活できる居場所の確保，社会参加と自立に向けた支援を行っている。支援員については，有償ボランティアでフリースクールで活動しているスタッフを登録していることから，フリースクールの人件費の一部支援としての側面もある。	総務
7	大崎市図書館	②	小中学生を地域で守り，育ててほしいと言われるが，民生委員・児童委員に情報が来ない。	教育委員会に確認して，検討したい。	民生委員法第14条に定める職務に基づくものとなると考えられるため，教育委員会，その他関係機関とも情報連携を密に取っていただけるよう提言していきたい。	総務 民生

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
8	大崎市図書館	①	経済活性化への提案だが、大崎の観光地を売り出すことが一つ、バッテリー工場誘致や空家利用の移住の推進にもっと力を入れてはどうか。大学誘致も必要と思う。	検討させていただく。	本市では、移住支援の総合窓口として、おおさき移住支援センターを開設し、各種相談等に対応している。また、大崎市空き家バンクを運用し、空家活用の移住の推進をしている。御指摘の大学の誘致ではないが、宮城県が日本語学校の開設を目指していることから、本市は県と連携し、交流人口の増加、地域活性化、産業振興等を目的に、10月に日本語学校推進室を新設し、誘致活動に動き出したところである。	総務産業
9	大崎市図書館	③	核兵器禁止条約や憲法改正に関する意見書について、もっと議会で議論してもらおうと解りやすいと思うがどうか。	提案者、賛成者があって意見書は初めて議案になるので、意見として承ける。	会場での回答のとおり。	議運
10	大崎市図書館	②	宮城県は不登校が最も多く、全国的に成人の引きこもりが問題となっている。潜在的な引きこもりを市では把握しているのか。また、その自立に向けて社会として何かできることはないだろうか。	不登校の人数については、教育委員会から報告を受けているが、成人の引きこもりについては把握していない。親が亡くなったらどうなるのかという不安もあるので、今後把握に努める。	本市ではひきこもり者支援に関する実態把握調査を行い、報告書を作成し、対応にあたっている。また、11月広報では折込のチラシを配布した。今後も成人の引きこもりについては、各種団体と連携を深めながら調査していきたい。	民生
11	大崎市図書館	③	核兵器禁止条約への日本の参加について、地方からもっと発信していくべきではないかと思う。大崎市議会では、否決されたが、ぜひ意見書をあげてほしい。	意見についてしっかりと受け止め、今後も議論していく。	会場での回答のとおり。	議運
12	大崎市図書館	③	若年層は、ワクチンの副反応を心配し、接種を控えていることで感染が増えているのではないか。接種を促進するように対策してほしい。	ワクチン接種時の副反応などのリスクとワクチン未接種時のリスクについて、正確な情報を発信していくことが重要であり、今後も執行部に求めていく。	ワクチン接種への理解を高めるため、メリット・デメリット等が分かるパンフレット等の配布を提言している。	コロナ
13	大崎市図書館	③	5年ぐらい前の議会報告会で質問した内容、意見のフィードバックがないが、どうなっているのか。	いただいた質問、意見については議会だよりや市のウェブサイトにて報告している。	会場での回答のとおり。	議運
14	大崎市図書館	③	スポーツ公園の整備について、地区から陳情したが、結論は出ているのか。	何度も議会で質問、議論しているが、スポーツ公園整備について計画されていない。宮城県は令和9年着手の見込みで化女沼公園整備構想を打ち出している。	【担当課確認】 現在、大崎市には、スポーツレクリエーション系の施設が45施設あり、延べ床面積は約6万平方メートルとなっている。その中で、約4割の施設が築30年以上経過している状況にあり、市ではこれまで市民の皆様が安心・安全に利用できるよう、修繕や改修に取り組んできたところではあるが、今後40年間で他の施設も合わせ年間約44億円の維持管理費が不足していくという試算が出ている。 現在、公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、施設の長寿命化（耐用年数の延長）とあわせ、減築（用途の廃止・解体など）や集約化（同じ機能の集約）、複合化（異なる機能を集約）を目標に取り組むこととしており、既設の体育施設や公園等の適正化、定住自立圏を含む近隣市町が保有する施設の相互利用を視野に入れながら、将来の人口動態や利用状況、費用対効果を総合的に勘案し、運動公園等の整備が次世代の負担とならないよう市長部局と連携し慎重に判断していく。	総務建設
15	大崎市図書館	③	トヨタの進出ができなかった理由が、古川の土地が高いからという答えがあった。その後、何か進んだか。	トヨタ本体は、大衡村と岩手県金ヶ崎町に進出しており、トヨタ関連企業は大崎市内の三本木地域や古川地域に進出している。	【担当課確認】 トヨタ本体は、大衡村及び岩手県金ヶ崎町に進出し、それに関連する企業は、三本木及び古川地域に進出している状況である。現在は、三本木スマートインターチェンジ東部工業団地をはじめ、市内の候補地を企業に提案しているが、なかなか誘致に結び付いていない状況である。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、企業側の意向もあり、ここ2年半は積極的な企業訪問はできていないが、コロナの感染状況を見ながら企業訪問活動を再開していきたい。	産業

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
16	松山 公民館	①	鳴子のプレミアム商品券を出しているが全市的には使えない。地域経済は疲弊している。市内全体でのプレミアム商品券の考えは。	電子商品券（パタPEY）を予定している。	【市の対応状況】 市内経済の需要喚起を図るため、12月25日までを利用期間として「宝の都（くに）・大崎」プレミアム電子商品券を発行している。	産業
17	松山 公民館	①	プレミアム商品券は抽選なので購入出来ない人も思う。金額を減らしても多くの人に行き渡るようにしてはどうか。	今度のプレミアム電子商品券の対象は世帯ごとではなく、スマホを持っている市民ごとになる。これまでよりも幅広く、購入しやすくなっている。	【担当課確認】 一次販売は1人5セットまで、二次販売は3セットまで購入可能とした。二次販売は申込多数のため抽選販売となっている。割増額については、今後実施の際に検討していく。	産業
18	松山 公民館	①	プレミアム商品券は、高齢者を始めスマホを使えない人もおり、馴染めない人もいるのでは。	デジタルに馴染めない人へのフォローが課題だが、別居の孫と一緒に買いに行く等も考えられ、コミュニケーションの一助となることも想定し、どうしても利用できない方々は、商店街単位での商品券事業にも補助金を出して展開しているのでも、そちらを利用して欲しいと執行部の答弁があった。	【担当課確認】 販売・利用に際して、7月1日からパタPAY専用のコールセンターを設置し、利用に不安をお持ちの市民及び加盟店に対応している。一次販売は、60代以上が全体の26.6%で、90代の申込もあった。馴染めない方へのスマートフォンの勉強会も今後検討材料と考えている。	産業
19	松山 公民館	①	プレミアム商品券は栗原では全世帯に配布しており、お金がある無しに関わらず利用しやすい。費用対効果が良いからやるではなく、ベネフィットが良い政策を展開して欲しい。	ベネフィットが良いことも重要であるが、そのベネフィットを定量的にデータとして示し政策化していくことが大切であり、その証拠に基づく政策立案を活用する必要性を感じている。	【担当課確認】 紙の商品券で実施した際には見えてこなかった利用者の年代や利用店舗、利用時間等が電子商品券にすることでデータ化ができ、今後の様々な事業に活用できると感じている。	産業
20	松山 公民館	①	米価だけではなく、大崎の生産物の実態にあわせた（他の農産物に対する）政策が見えて来ない。議会として対策をして欲しい。	御意見として受け止める。	【担当課確認】 JAと連携しながら、子実用トウモロコシ等、需要に即した農作物の生産拡大を図るなど、米以外の作物もしっかりと推進していく。	産業
21	松山 公民館	①	プレミアム電子商品券を取り扱う店舗は機械導入が大変だと思う。どうするのか。	店舗に表示するQRコードを消費者のスマホで読み込みを行うので、新規の機械導入は必要ない。しかし、ご質問のような心配から導入に踏み切る店舗の伸び悩みが想定されるので商工会議所・商工会で説明会を開いている。また電子決済なので、これまでより売上金の入金手続き不要で導入店舗は手間が省け便利になる。	【担当課確認】 店舗にQRコードを設置するだけなので機械導入は不要となっている。換金についても毎月15日、月末締め、3営業日後に振込となっており、加盟店が換金に商工団体へ出向くこともなくスムーズに換金が行われている。	産業
22	松山 公民館	②	子育てしやすい市にするために、給食費や教育費の無償化を議会としてどう考えていくのか。	給食費に関しては義務教育の範囲であり国の管轄となることから、国の動向を注視していく。引き続き、議会でも議論を続けていく。	会場での回答のとおり。	総務
23	松山 公民館	③	地域づくりで大事なのは人的支援、財政支援及び活動拠点である。松山地域だけ活動拠点が無いのはなぜか。活動拠点を作って欲しい。	執行部に地域の現状を把握するよう、働きかけていく。	所管委員会で松山地域の地域づくりの問題点についての調査を実施したい。問題点が明確になれば、必要な措置を執行部に求めていきたい。	総務

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
24	松山公民館	③	春に断水があった。災害時にエリアメールで情報を伝えてほしい。防災行政無線では聞き逃した場合は分からない。緊急時は（命に関わる場合は）、音を変えてもいいのではないかと。防災にはスマホをもっと活用して欲しい。	要望として受け止める。	【担当課確認】 防災行政無線のみでの情報伝達には限界があると認識しており、その放送を補完する仕組みとして、放送内容を電話で確認できるフリーダイヤルのテレホンサービス（0120-6000-54）や、放送内容をメールで受信できるメール配信システム、放送内容の市ウェブサイトへの掲載など、各種行政情報が入手可能な補完システムを整備しているため、活用いただきたい。 そして、エリアメール（緊急速報メール）については、全国統一の利用規約にのっとり運用しているが、その中で配信可能な情報は以下の16項目のみに限定されている。 ・高齢者等避難 ・避難指示 ・緊急安全確保 ・警戒区域情報 ・津波注意報 ・津波警報 ・大津波警報 ・噴火警報 ・指定河川洪水警報 ・土砂災害警戒情報 ・東海地震予知情報 ・弾道ミサイル情報 ・航空攻撃情報 ・ゲリラ、特殊部隊攻撃情報 ・大規模テロ情報 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく感染防止のための外出自粛要請 よって、断水情報の発信への活用は、現時点ではできかねる。	総務
25	地域交流センター	③	新型コロナの感染流行第七波が到来しつつあるが、4回目接種すれば軽症化するのか。	65歳以上が4回目の対象としたのは、そのためだ。3回目接種が低年齢の方々が50%前後で低く、感染が広がっている。	感染予防効果は短期間しか持続しなかったという報告がある一方、重症化予防効果は6週間経過しても低下せず維持されていたことや、死亡予防効果を示唆する報告がされている。	民生
26	地域交流センター	②	生理の貧困が広がっている。学校のトイレにも生理用ナプキンを設置してほしい。	非常に大事な問題と認識している。行政・学校とも連携し、よりよい環境整備に向け働きかけていく。	【令和3年第3回定例会教育長答弁抜粋】 現在、全ての市立小中学校においては、保健室に生理用品を常備しており、急遽必要となった児童生徒に対し貧困に関わらず配布している。 「生理の貧困」は経済的な理由ばかりでなく保護者の養育能力や、児童生徒自身の知識不足から出現することも考えられる。 「生理の貧困」への対応として、生理用品を一方向的に配布するのではなく、性に対する正しい知識を深めさせる教育や、それぞれの背景に関わり、真に困っている状況を見つけ出し、相談、支援する役割が重要であると認識している。各校には、これまで以上に子どもたちに注視し、寄り添い、信頼関係を構築するよう指示しており、教育委員会としては、今後「生理の貧困」に直面している児童生徒を確認した場合、その児童生徒が抱える不安や困難に応じた適切な支援を行うため、民生部局等と連携し対応したい。	総務
27	地域交流センター	③	核拡散防止条約に日本国としても批准するよう、大崎市議会で意見書を提出していただきたい。	日本のあるべき姿についてはよく議論が必要である。現在は、政府は核兵器は「廃絶」ではなく「抑止」に注力している。今後も「抑止」から「廃絶」に動いていけるよう、声をあげて参りたい。	会場での回答のとおり。	議連
28	地域交流センター	③	古川地域は冠水の影響が顕著であり、本日7月13日のような大雨でも、古川城西地域が冠水した。今後の対応、対策について意見を伺いたい。	古川地域の冠水は急な宅地造成に起因するものが多い。新しい排水路を稲葉や本鹿島につくるなどとしているが、県とも連携し、調査のうえ対応を検討し、河川の浚渫など早期解決が図れるように働きかけていく。	【担当課確認】 城西地区の排水先になる大江川の堆積土砂撤去や、水草除去するなど、水の流れが良くなる対策を宮城県に対し引き続き要望し、市管理河川についても同様に浚渫を行っていく。	建設
29	地域交流センター	③	大崎市議会が提出する「意見書」は、全会一致が原則なのか。	全会一致が原則ではない。「決議」は全会一致を重視している。	会場での回答のとおり。	議連

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
30	地域交流センター	②	子ども食堂のボランティアを行っている。大崎市から補助金をいただけないか。給食費の無償化等を進めてほしい。	各種補助制度があるにも関わらず、困窮世帯が存在することは由々しき事態である。各区長・民生委員と連携し、「声なき声」を拾っていきけるよう努めたい。また、各種補助や給食費無償化については、課題ととらえている。	会場での回答のとおり。	総務 民生
31	地域交流センター	②	大雨をはじめとした災害が発生した際、学校からの積極的な情報発信に非常に助かっている。ぜひ、大崎市内の学校全体に伝えていただきたい。	非常に有意義な御意見であり、全体のものにするよう努力したい。	会場での回答のとおり。	総務
32	地域交流センター	③	各種相談事項が発生した場合に、気軽にかつ横断的に相談できる窓口や照会部署が欲しい。	新庁舎において、生活困窮者対策を含む相談窓口を集約する機構改革の予定だが、なお、相談できるところが必要なので、提言していく。	行政に対する要望や苦情、日常生活の悩みなど、市民相談員が相談に応じ助言をしている。より詳しい内容になる場合は、担当部署に繋いでいる。電話でも相談できるため利用していただきたい。また、会場での回答にもあったが、相談窓口を集約できるよう現在進めているため、今後も市民に寄り添った相談窓口の体制を構築できるよう調査・研究していきたい。	総務 民生
33	バレットおおさき	②	子育て支援について、大崎市では教育について無料を打ち出すような議論をしてないのか。	こども医療費は10月より所得制限撤廃、範囲拡大することが補正予算で決まっている。	令和4年10月受診分から、子ども医療費の助成対象者が拡大された。これまでは15歳までが対象だったが、18歳まで拡大され、さらに所得制限についても撤廃された。 今後も少子化対策を調査・研究し提言していく。	総務 民生
34	バレットおおさき	③	大崎の結婚率が低下しており、半分以上が結婚しない。このことから、人口増・出生率増につなげていくことで、生涯設計が明確になり、見通しが立つ。そういったことを議論してほしい。また、新型コロナウイルスワクチンの予約をケータイからできるのだから、選挙の電子投票も考えてほしい。	要望として受け止める。	会場での回答のとおり。	総務
35	バレットおおさき	①	古川駅前の商店街や環境整備（公園、ベンチなど）について、どう考えているか。ピボットの跡地利用をJR&市の協議に関する新聞記事をみたが、協議はどのようになっているのか。古川の議員は14名いるので、古川駅前の活性化について検討してほしい。	古川駅ピボットが入っていたビル自体はJRのものであるため、JRとの協議が必要である。産業常任委員会では、商店街などとの意見交換会を行い、商店街、駅前の発展について議論していく。	【担当課確認】 古川駅前の商店街や環境整備については、古川商工会議所を中心とした古川駅周辺の活性化に対する研究会が立ち上がっており、今後様々な議論が展開されていく。 また、ピボットの跡地利用については、JR東日本東北本部と市等の関係機関による長期的な利活用に係る検討会を開催し、協議を重ねていく。	産業
36	バレットおおさき	②	子育て支援について、どれくらいの予算が計上されているか。	6月定例会において、低所得世帯へ一世帯5万円（予算総額1億7,780万円）の事業、また、他の子育て世帯向けには、応援給付金事業として子ども1名1万円、（予算総額1億6,294万5千円）を申請不要で給付する事業などが決まっている。	今後も少子化対策を調査し提言していく。	民生
37	バレットおおさき	③	大崎市には、宝がたくさんあるものの、それぞれの結びつきが弱いと感じている。先見性を持ってアイデアを持って議論してほしい。	例えば、世界的に食糧の確保、タンパク質の確保が重要視されている中、大崎市は質の良い大豆を生産し、販売も良好である。水田リノベーション等、稼げる農業となるよう議論していきたい。	ご意見として伺い、執行部担当課へ申し伝える。	産業

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
38	バレット おおさき	③	合併の後、職員数は減る一方で、仕事量は増えていると感じる。市役所の職員の働き方はどうなっているのか。総合支所の機能やワンストップ化、また地域で災害が起きると、本市の職員がいなくなってしまう。こういった点についても議論してほしい。	正職員は890人いる。加えて会計年度任用職員としても雇用し、改革プラン前の人数が働いている実態である。現在の職員数を維持する中で、効率良く行政サービスを提供できるよう、議会として注視していきたい。	【令和3年第3回定例会市長答弁要旨】 合併以降、定員適正化計画により職員数を400人削減してきたことや、業務の本庁集約化を図ってきたことにより、総合支所の規模はこの15年でスリム化しており、職員数も合併時と比較すると減少している。 組織機構については、「大崎市組織機構再編計画」に基づき見直しを行っており、具体的には、総合支所で行っている業務のうち専門性が高い業務については、本庁業務として本庁機能を充実強化し、限られた人材の効率的な配分・活用を図ることとし、総合支所については、市民に身近な行政サービスを提供する「地域の総合窓口」として位置づけ「市民に身近な窓口業務」、 「市民の安全安心を守る業務」、 「市民協働の推進に関する業務」及び「産業振興支援業務」を担う組織として機構の再編を行った。 近年の市民ニーズの多様化や行政事務の複雑化により、総合支所の役割が地域の窓口業務に留まらなくなっている一方で、限られた人材で行政効果を発揮しなければならないことも事実であり、令和元年東日本台風による災害発生時には、鹿島台総合支所のみならず、全庁体制で早期復旧に取り組んだ。本庁の関係課と総合支所との連携を密にして、市民サービスの低下にならないよう行政運営を進めていく。	総務
39	バレット おおさき	③	仙台や近郊に行くと、100メートルおきに公園があり、緊急避難場所にも使えるようになってきている。他地域と比較すると、古川には公園が少ないことについて、どのように考えているか。	大崎市には、市が管理する公園は84か所ある。公園の存在が認知されておらず、公園があることを知らないという可能性もある。まずは公園の現状を確認し、議論していきたい。	【担当課確認】 古川地域には建設部で所管している公園が42か所、民生部で所管している公園が155か所ある状況であり、認知されていない公園も多数あると思うので、市のホームページ等を活用し、周知等を図っていく。	建設
40	バレット おおさき	③	メガソーラーや風力発電など、再生エネルギーの開発によって、山が保水機能を失い、洪水被害がさらに広がるのではないかと。	森林保全と災害の関係は、上流部が荒れると、下流部の災害が心配される。国、県が管理するものであるが、市として事業者にはしっかりと対応してもらうよう議会としても注視していく。六角牧場の風力発電についても、渡鳥の移動の経路にあたる可能性も出ており、地域住民との話し合いをしっかりと行っていただきたい。再生可能エネルギーは必要なものであり、住民の懸念をしっかりと払拭して進めるように、市にも提言していく。	【担当課確認】 再生可能エネルギー開発による森林開発での雨水の保水力低下がもたらす災害の防止については、開発面積が1万平方メートル以上のものは、宮城県防災調整池設置指導要綱により、また、7,000平方メートル以上のものは大崎市防災調整池設置指導要綱により防災調整池の設置を指導している。 また、流域のあらゆる関係者が協働して氾濫被害を最小限にとどめるためのハード対策・ソフト対策に取り組む流域治水の観点からも山林の保水機能の維持・向上は重要であると考えている。	建設
41	バレット おおさき	③	転作の件について、見直しをお願いしたい。資材費の高騰により、来年水田の受委託にも関わってくる。	議会として、今後農水省への要望を出していく。 秋の飼料については、大崎市においても県の支援に合わせて補助金等の支援を検討しているとのことであり、さらに提言していく。	会場での回答のとおり。	産業

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
42	バレット おおさき	③	カーボンニュートラル、再生エネルギー活用、SDGs未来都市などあるが、世界農業遺産との関連性など、中身をしっかりと市民に説明し、総合的に議論してほしい。	中身をしっかりと説明してほしいという意見について、SDGs未来都市など、今後執行される事業について、しっかり見守り、決算で振り返りを行っている。	【市の対応状況】 世界農業遺産については、アクションプラン推進会議において、3本の柱であるフィールドミュージアム構想検討部会、認証制度検討部会、人材育成検討部会に分かれ、各分野の取組について議論を行っている。 カーボンニュートラルについては、国が示すエネルギー基本計画、大崎市環境基本計画などの各種計画に基づき、二酸化炭素の排出量削減に向けた施策を展開しているが、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、現状の整理と取り組みの方向性を示していく。 SDGsについては、世界農業遺産に関係するステークホルダー会議、生物多様性の専門家による会議などを開き、市民セミナーなどの普及啓発や生物多様性調査などの取組の共通認識を図っている。	産業
43	バレット おおさき	③	ドットジイビーインターシップでの大学生と意見交換会をした際、どのような意見が出たのか。	大学生からの要望があって2年続けて行った。 ・古川のまちには自転車が多いが、自転車帯がなかったり、道路の陥没箇所が多い。 ・鳴子温泉地域は観光地だが錆びれて見えるので、議員のみなさん対応をしっかりと考えて下さい。 ・若い人が活躍する場がない。若い人のイベントが欲しい。 ・議会の距離が遠いので情報発信して欲しい。 などの意見があった。 また、大崎市でこれだという政策を3つ教えて下さいとの質問があったが、所管ごとに取り組んでいるので、3つを選ぶのは難しいと回答した。	会場での回答のとおり。	議連
44	バレット おおさき	②	一般の市民として、大衡村や富谷市などでは子ども医療費を18歳まで無料にするなど前向きに子育てしやすいが、大崎市は積極面がない。	大崎市も今年の10月から子どもの医療費18歳まで無料となり、所得制限がなくなる。	今後も少子化対策を調査し提言していきたい。	民生
45	バレット おおさき	③	三本木のパークゴルフ維持管理7,300万円だが、有識者会議で建設課や県土木課へ提言してきた。いままで18億6,000万円かけているが、グランドオープンしていないのだからリニューアル工事が終わったら6コース全部利用できるのか。管理者に聞いても曖昧な返事であるが議員は現場を見ているのか。オープンから3年近く経っているがどうなっているか。	議会でも大分議論している。工事については今月中に完了する見込みである。また、すいせんコースが残っているが工事費の差額があるのでそれをすいせんコースの改良工事に活用する。ただ、工事完了の時期は聞いていないが、年内に出来るかとは思っている。私も雨の日に実際やってみたが、水溜まり池になってボールが飛ばない状況だった。早くいいコースにするように執行部に強く話したこともある。工事は今年中に目途がついても、冬場に係るので、年度末にオープンが出来るのかなと思う。もうしばらく待つて欲しい。来年度には各種大会ができることを祈ってる。	【担当課確認】 三本木パークゴルフ場については、4月からコース改善に向けた工事を実施していたが、7月15日の記録的な大雨により、三本木パークゴルフ場及び隣接する新世紀公園が被災したことを受け、工期を延期しているが、一部完成したひまわり、なのはなコースについては指定管理者へ引き渡し完了しており、来年春より利用可能となる。残るすいせんコースについても、早期完成を目指し、来年度内のコース引き渡しに向け、関係者と協力して工事を進めていく。	建設

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
46	パレット おおさき	③	納税課から102万円の公金がなぜなくなったのか。あつてはならないことである。謝ったらいいではない。大崎市の恥。大崎市は何をやっているのか。今後絶対にこのようなことがないような管理体制を求める。議員たちは目を光らせて、監視体制をしっかりとやっていただきたい。		本件については、7月14日に議員全員協議会で「公金紛失事案の発生について」、8月9日に総務常任委員会で「公金管理の在り方について」それぞれ調査を行った。 市では、警察に被害届を提出、受理されたうえで捜査に協力し、進展を見守っているところであり、今回の紛失事案を教訓として、再発防止のため、公金等取扱事務改善調査委員会を設置し、調査・検証を行っているところである。 短期的な対策・対処として、監視カメラの設置等を行い、長期的な対策としては、職員のコンプライアンス確保のための職員研修の開催や公金取扱指針、公金取扱マニュアルなどの作成、更には職員が現金を極力取り扱わない仕組みづくりなど、新庁舎供用開始以降の公金管理体制をキャッシュレスの取組と併せて検討していくとの答弁があった。	総務
47	パレット おおさき	③	大江川が氾濫したが、氾濫しないためにどうしたらいいのか。考えを伺いたい。	建設課より今年度中に、大江川が県から大崎市に移管される話を受けている。新大江川の整備が完了したら、市に大江川を移管するという話だが、未整備のまま移管されても困るということで、整備をしてからの移管を市では県に要望している。 市では、地域の区長と大江川改修整備促進委員会を立ち上げ、現地調査のうえ県へ要望した経緯がある。 議会では新大江川の河道掘削と除草作業を県へ要望していきたい。	【担当課確認】 流域全体での対応が必要と考えており、今後、多田川流域検討部会にて、関係機関と連携して浸水被害の軽減策を検討していく。 また、水の流れが良くなる対策を宮城県に対し引き続き要望していくとともに、市管理の上流部でバイパス水路を整備しており、完成時には上流域の水を新大江川へ流す等、街中の浸水被害軽減に繋がる対策を行う。	建設
48	パレット おおさき	③	7月12日の河北新聞に掲載していた憲法改正について、私は憲法改正に賛成だ。推進の立場でもいいので意見書をだして賛成・反対の討論があると参考になる。	意見書は、毎年のように提出しているが、憲法改正についての意見書は出していない。	会場での回答のとおり。	議運

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
49	パレット おおさき	②	6月11日に中体連が加美町の陶芸の里で行われた。大崎の子ども達がなぜ加美町でやらなければならないのか。アルプスのカドニウムが出て米が作れなかった場所に建設予定であったが、とん挫した。大崎市に陸上競技場やサッカー場を作る夢と希望を持てる要望はないのか。	総合運動公園については、平成29年6月に駅東の5行政区長より要望が出されている。また、市のスポーツ推進審議会において、市民アンケートを行ったところ、体育施設が少ないという意見が多い結果となっている。一方では、建設費が莫大なことや、ランニングコストも何百万円もかかることから、否定的な意見もある。総合運動公園の建設については、議会としても多くの市民からの要望があることは承知しているところである。議会として、建設の必要性について議論していきたい。	【担当課確認】 現在、大崎市には、スポーツレクリエーション系の施設が45施設あり、延べ床面積は約6万平方メートルとなっている。その中で、約4割の施設が築30年以上経過している状況にあり、市ではこれまで市民の皆様が安心・安全に利用できるよう、修繕や改修に取り組んできたところではあるが、今後40年間で他の施設も合わせ年間約44億円の維持管理費が不足していくという試算が出ている。 現在、公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、施設の長寿命化（耐用年数の延長）とあわせ、減築（用途の廃止・解体など）や集約化（同じ機能の集約）、複合化（異なる機能を集約）を目標に取り組むこととしており、既設の体育施設や公園等の適正化、定住自立圏を含む近隣市町が保有する施設の相互利用を視野に入れながら、将来の人口動態や利用状況、費用対効果を総合的に勘案し、運動公園等の整備が次世代の負担とならないよう市長部局と連携し慎重に判断していく。	総務建設
50	パレット おおさき	③	会派について、新生会と創新会の違いはなにか。副議長は、どういう人が立候補したのか。	会派については理念等の方向性で組む。 副議長には、佐藤講英議員・佐藤仁一郎議員・横山悦子議員・佐藤勝議員の立候補があった。	会場での回答のとおり。	議運
51	古川富永 地区公民館	③	高齢者の年金が減ってきている。何らかの対策は。	年金問題については、本年2月の定例会において民生常任委員会の提案で、国に意見書を提出した。そのことのみではないと考えるが、政府は年金の目減り分の対策の検討に入っている。	会場での回答のとおり。	民生
52	古川富永 地区公民館	②	少子高齢化対策として子育てしやすい大崎市であるべきと考えるが対策は。	多くの市民からの要望もあり、本年10月から子ども医療費が、所得制限なしで18歳まで無料となる。このことも子育てしやすい大崎市につながると思う。	令和4年10月受診分から、子ども医療費の助成対象者が拡大された。これまでは15歳までが対象だったが、18歳まで拡大され、さらに所得制限についても撤廃された。今後も少子化対策について調査し提言していきたい。	民生
53	古川富永 地区公民館	③	コロナに罹患して、後遺症に苦しんでいる。後遺症に対しての丁寧な対応を求める。	意見として伺う。国や県のHPなどには、後遺症についての記載があるが本市のHP上にはない。民生部に政策提言していく。	コロナの治療や療養が終わっても、後遺症に悩んでいる方がいることは把握しているが、現時点で定まった診断方法や治療方針は確立していない。そのため、後遺症に対する相談体制をすぐに強化することは難しいと思われるが、県のウェブサイトで後遺症の相談が可能な医療機関を掲載しているため、その周知を図るよう、市に働きかけていく。	民生
54	古川富永 地区公民館	①	地域経済の疲弊は、コロナ以前からとを感じる。特に農業については大変な状況とを感じるが、何らかの対策は。	世界農業遺産と関連づけながら所得の向上対策を提案していきたい。	【担当課確認】 長期化するコロナ禍や生産資材の高騰などに対しては、これまでと同様に状況に応じた支援を検討していく。	産業
55	古川富永 地区公民館	②	少子化の原因の1つに出会いの場がないことが挙げられると考える。本市の婚活支援、対策は。	婚活支援センターは現在活動していないが、大崎定住自立圏構想の取組の中で、出会いの場づくりを、大崎地域の4町と共に進めている。	本市の婚活支援としては、独自の婚活支援情報ポータルサイトを運営し、民間事業者等が実施する婚活情報の発信を行う取組や、大崎定住自立圏での青年交流推進事業の実施、マッチングや婚活イベントでの出会いを支援する「みやぎ結婚支援センター」と「みやぎ青年婚活サポートセンター」の入会金の助成など、多様な出会いの場と個別ニーズに即したマッチング機会の創出を軸に取り組んでいる。 引き続き、所管委員会でも調査、研究に努め、支援策について提言を行っていく。	総務

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
56	古川富永地区公民館	③	婚活支援の取組は、行政のみならず市内の企業とともに協力して取り組むべきと考えるがそのような活動は行っているのか。	市内の企業などにも声かけを行い、前述のような出会いの場への参加を促しているが、参加者が少ないのが現状である。御意見として伺う。	市の婚活支援として、独自の婚活支援情報ポータルサイトを運営し、民間事業者等が実施する婚活情報の発信を行う取組を行っている。	総務 産業
57	古川富永地区公民館	①	水田活用交付金の見直しについては、中山間地域では5年に1回水張りを行わなければならないという条件は難しい。水田活用交付金の見直しについて国に要望をお願いしたい。	これまでも、同様の御意見を多数頂戴しており、これまでも機会をとらえて発言しているが、今後も国に対して意見を述べていく。	【担当課確認】生産現場の実情をよく把握した上で政策決定するよう、関係機関と共に国に強く意見・要望を行っており、今後の国の動向に注視しながら対応していく。	産業
58	古川富永地区公民館	③	区長制度の見直しについて再考してほしい。	昨年も区長制度の見直しについて同様の意見を頂戴しており、今後も委員会を通じて調査していく。	一昨年内市の区長会議があった際、当時の担当部長から他の市町村では区長制度をなくした自治体があるため、そのことも含みながら大崎市でも区長制度の在り方について考えたいという旨の説明があった。その後、区長の役割が多岐にわたっていることから、市としては区長制度は現行どおりに継続する方針としたところである。会場での回答のとおり、今後も委員会を通じて区長制度の見直しについて調査していく。	総務
59	大貫地区公民館	①	復活助成金の申請が煩雑で、補助金の使途が所管によって異なっているのが問題ではないか。	その通りで、コロナ関連以外で使えないのは、使い勝手が悪く、所管によって対応が違うのは課題であり、調査していく。	【担当課確認】申請については、関係団体等と申請者に寄り添った形で支援できるように努めていく。	産業
60	大貫地区公民館	②	出産費用を行政で無償にするべきではないか。	民生常任委員会を通じて調査していく。	市では、現在出産育児一時金として42万円の支給を行っている。	民生
61	大貫地区公民館	③	結婚や出産を推奨するように議会だよりでも伝えてほしい。	地域の交流が少なく、出会いの場が必要だと感じているので、ご意見として伺う。	今後の情報化対策特別委員会で検討していきたい。	情報化
62	大貫地区公民館	①	グリーンツーリズム関係での大崎市職員の担当がいなく感じる。観光公社に丸投げではいけないと思うが。	コロナの関係で足踏みしていたが、世界農業遺産推進課が担当になるので、これからがんばっていただきたい。	【市の対応状況】大崎市グリーン・ツーリズム協会の定例会議などに出席して、実践者等と連携を密にしている。また、世界農業遺産資源を活用したG I A H S ツーリズムとの組み合わせなど、多様なプログラムの検討を観光公社と一緒に推進している。	産業
63	大貫地区公民館	①	誘致企業が少ないので若い人たちが地元に残れないのではないか。	コロナ禍の為、誘致活動が思うようにできなかったため、トヨタの恩恵が大崎市には少ないように思われる。執行部まかせにせず、産業常任委員会でもしっかり調査し提案していきたい。	【担当課確認】令和4年8月の有効求人倍率は、1.18%となっているが、看護、介護、保育分野や建設分野など、各産業分野において人材不足問題が深刻化している。このため、宮城県やハローワークなどの関係機関と連携を図りながら、求人と求職のマッチング支援など実施し、人材不足分野における人材確保を推進していきたい。また、企業誘致に関しては、三本木スマートインターチェンジ東部工業団地をはじめ、市内の候補地を企業に提案しているが、なかなか誘致に結び付いていない状況である。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、企業側の意向もあり、ここ数年は積極的な企業訪問はできていないが、コロナの感染状況を見ながら企業誘致活動を再開していきたい。	産業
64	大貫地区公民館	③	民生委員のなり手がなく、困っているので業務内容を精査しないと引き受け手がなくなる。	ご意見として伺う。市や国に対してもしっかり要望していく。	会場での回答のとおり。	民生
65	大貫地区公民館	③	これまでの話は、大崎市議会で解決できる問題は少ない。財源も権限も国なので毎回の議会で意見書を何度も出すことが大事である。国で解決してもらうために、議会でしっかりやってもらいたい。	意見書については、議会として国や関係機関に提出して対応していく。	会場での回答のとおり。	総務

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
66	大貫地区 公民館	③	3年ほど前の山王川の決壊は河川管理が甘く、柳津分流堰を止めなかったのが原因なので、議会で調査していただきたい。	当時、河川事務所長の説明を聞いたが柳津分流堰の運用は重要な効果をもたらすので、減災の分野でも確認していく。	【担当課確認】 柳津分流堰の運用につきましては、北上川下流域の多くの河川に影響することから、関係する河川管理者の北上川下流河川事務所や宮城県へ管理方法について確認していく。	建設
67	大貫地区 公民館	③	公共交通機関の運用がうまくいっていない。東松島市は、うまくいっているので視察・勉強会をやったらどうか。	公共交通の利便性を考え、調査していきたい。	本市における持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向け、大崎市地域公共交通計画を作成し、市民の皆様に分かりやすく、使いやすい公共交通を目指し取り組みを進めている。 なお、古川地域の清滝地区、宮沢地区において地域内公共交通の実証運行を行っていたが、本年10月から本格運行に移行するなど取組を進めている。 また、7月28日、JR東日本が経営の厳しいローカル鉄道の情報を公表したことを受け、本市では、対象となった陸羽東線の利活用促進に向けた本市独自の再構築検討会議を設置し、全国の私鉄、観光列車の取り組みや様々な成功事例を学び、沿線自治体、JR、国、県等と連携を図りながら、全国のモデル会議となるように、今後の鉄道の利用促進と活性化に向けて取組をスタートしたところである。	総務
68	岩出山 総合支所	①	岩出山町時代に工業団地の整地がされたが、合併後企業誘致が進んでいない中、活性化策としての都市計画マスタープランだと、企業誘致を検討するところだが、10年経ってもまだ、検討中とは、納得できないが如何なものか。	合併前の工業団地のこれまでの経過との事だが、大崎市は今まで企業のオーダー方式を取ってきている。 産業常任委員会に持ち帰り回答する。	【担当課確認】 企業側の条件に合わせて、岩出山地域も含め、市内の候補地や三本木スマートインターチェンジ東部工業団地を紹介しているが、誘致に結び付いていない状況である。 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、企業側の意向もあり、ここ数年は積極的な企業訪問はできていないが、コロナの感染状況を見極めながら企業誘致活動を再開していきたい。	産業
69	岩出山 総合支所	②	子育て支援で議会に期待と言われても、どれほど効果があるか。現状では40歳から60歳までの独身者が多いため、結婚を勧める環境整備が必要と思う。 第三子以降の支援策として、1千万円位支給するような施策が必要と（100万、200万では少ない）思う。	市議会としては、保育施設の拡充に注力してきた。それにより、待機児童をとりあえずゼロにしようとしてきた。結婚支援については、婚活支援センターも活用してきたが、昨年頓挫した。 第二子第三子の支援金もあれば良いと思うが、自治体単独では難しいことから、優先順位を付けながら国県に要望を上げるよう提言していく。	【令和4年第3回定例会市長答弁】 県内でも、出産祝い金や一時金を支給している自治体は見られますが、少子化対策の側面を見た場合、その効果は限定的であるように感じております。少子化対策につきましては、子育て支援の充実はもとより、雇用創出、住宅供給、医療、教育など多岐にわたる取組の相乗効果により魅力を上げていくことが必要であると認識している。 本市としては、一時的な給付事業の実施というよりも、子育て世代包括支援センターにおける保健師の関わりや、子育て支援拠点施設における子育て世帯を対象とした事業などを実施しており、既に妊娠期から出産・子育てに至るまで継続的な支援を行ってまいります。	総務 民生
70	岩出山 総合支所	③	令和2年のコロナ対策における市長要望書について、その進捗はどうなっているのか。また、市の横断的な組織を整備したとあるが、具体的にお聞きしたい。	新型コロナウイルス感染について、初期は風評によるいじめがあったり、理解不足での課題があったので、予防接種の推奨、PCR検査キット配布の推進や人口検温・消毒につながった。 議会としては、全議員で構成する新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会を設置し、市の対策を調査している。なお、市当局は各課連携するために本部会議や部長会議を設置して対応している。	会場での回答のとおり。	コロナ
71	岩出山 総合支所	②	3歳の息子を認可保育所に預けているが、私が不調の時に健常の息子が登園拒否に遭い、大崎市に子どもを預かってもらえないか相談したが、身内の誰かに面倒を見てもらうようにと断られた。夫が単身赴任であり、頼るところがなかったため、市に問い合わせしたが、ありませんの即答だった。	同様の課題はあると思うが、検討し、宿題として受け止める。	執行部に現状を確認したところ、市内公立保育施設では、感染拡大防止のため、児童本人はもちろん、家族に風邪症状等がある場合にも登園を控えるようお願いしている。私立保育園での取り扱いについては、各施設の責任のもと対策を実施しているが、概ね市の対応に準じた扱いとなっている。 コロナの感染症防止のためにも、ご理解をお願いしたい。	民生 コロナ

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
72	岩出山総合支所	②	市内の公園が老朽化しており、古川大幡地区には公園もない。空き地があるだけで、住宅地の中の公園を増やしてほしい。 駅南2号公園は立派だが遠い。七北田公園程度とは言わないが、化女沼や古代の里程度でいいのでそれぞれのエリアに欲しい。	大幡地区は古川市時代に開発計画があったが、頓挫し、民間で開発が進んでしまった。現状は把握しているので、地域ぐるみで住民からも市長に要望を出して欲しい。議会としてもバックアップしていきたい。	【担当課確認】 市の公園整備は、現在、既存公園の遊具が老朽化していることから、更新が必要と判断された遊具更新を進めているため、新たな公園整備の計画はないが、新たな公園整備として宮城県において、化女沼広域公園の整備を予定しており、早期整備の要望を行っている。	建設
73	岩出山総合支所	③	市民プールが老朽化しているため、もう少し綺麗に整備できないか。やくらいウォーターパークのように温水併設などはどうか。	市では優先順位を付けて10年スパンで計画を立てている。今いただいた課題がどの順番にいるか確認したもので、当初50mにするか25mにするかの議論もあったことから長寿命化計画の中で、確認して対応する。	大崎市公共施設等総合管理計画個別施設計画等に基づき、令和元年、2年度においては、外壁等の改修を実施した。また、コロナ対策の交付金を活用し和式トイレの洋式化を実施した。なお、生涯学習施設の改修や修繕については、施設の老朽化による建物や設備等の損傷が著しいと認識しているが、重要度や危険度を判断した優先順位に基づきながら計画的な整備を進めているところである。 御意見として受け止め、執行部へ申し伝える。	総務
74	岩出山総合支所	③	有備館前の通り、森民付近だけ電話柱が撤去されたが、景観条例に照らしても有備館にそぐわないと思うがどうか。	森民付近までは、岩出山総合支所の令和3年度予算で実施したもので、有備館前の工事はNTTと協議して今年度末までに終了を予定している。	【担当課確認】 残りの電柱の撤去につきましては、現在、NTTと協議を行っており、今年度末に撤去を予定している。	建設
75	岩出山総合支所	③	公園が少ないと言う意見に同感だが、住民からの申し入れと言われても、市長への要望書を出すのが早いのか、議会に陳情するのが早いのか、アルプスやYKK勤務の若者は身近な付き合いも少ないのでその人達の不満をどこに届けば良いのか教えて欲しい。	議会は意見交換会で皆様の話が聞けるが、市長は要望があっても初めて動くことになる。地域の要望を町内会だったり区長に代表して声を書類で届けてもらう事になる。書類は、役所で受け取った時点で公文書となる。何度言っても動かない時は、議会へ紹介議員1人つけて、請願書を出して頂く。その後、委員会で審査し関係者から意見を聞き、執行部からも聞いて議決する。議会で採択されれば市長は尊重義務を負う。 議員は電話番号を公表しているので、是非、活用して頂きたい。	会場での回答のとおり。	建設
76	岩出山総合支所	③	明石市が色々面白い企画でいろいろ無償化して若者が流入しているが大崎市はどうか。	明石市もだが兵庫県の相生市も、子育てするなら我がまちへと市長が自らチラシを配り頑張っている。本市でも様々な取り組みを提案していきたい。	明石市では、給食費の無償化、医療費の無料化、公共施設の入場料無料化など、様々な子育て支援に力を入れていることは議会で把握している。 大崎市でも令和4年10月から子ども医療費の無料化を所得制限を撤廃し、対象年齢を18歳までに拡大し実施している。 今後も少子化対策を調査し提言していく。	総務 民生
77	岩出山総合支所	③	先日の大雨で岩出山地域の通称砂川が氾濫し、60年間生活してきた中で見たこともない自宅前までの浸水だった。嫁いだ頃は川幅が3メートル以上あったが、今は草が茂って1メートルくらいしかなくなっている。2年くらい前、選挙があったときは、県会議員に言ったら一時的には業者がきて土砂を取ってくれた。コンクリート水路ではなく、何とかならないか。	どこの管理河川か確認して、しっかり声を届けるよう対処する。	【担当課確認】 草が生えて川幅が狭い所については現在、業者に撤去作業を依頼している。	建設
78	岩出山総合支所	②	若い古川から来たお母さんの要望は、子どもを預ける所を設けて欲しいということだと思う。	御意見として伺う。	子どもを一時的に預かる子育てサポート保育事業、ファミリーサポートセンター事業を実施している。また病気のお子さんをお預かりする病児保育も実施しているため、市役所に相談していただきたい。	民生
79	三本木総合支所	①	今秋からの電子商品券（パタpay）については一定の評価をするところであり、来年以降の景気刺激策にも期待している。	今回の電子商品券での結果を踏まえて、次回以降の景気刺激策に活かしていけるよう提言していく。	【担当課確認】 現在パタPAY運用中のため、データがまとまりましたら、来年度以降に活用していきたい。	産業

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
80	三本木総合支所	①	電子商品券に関して、スマホのみの利用ではなく、例えば半分は紙媒体での運用でもよかったのではないかと。	スマホでの運用とすることで、経費を削減し割り増し分も4割確保することができた。紙媒体やカード媒体併用については次回以降も提案していきたい。	【担当課確認】紙媒体と併用する場合、換金に加盟店が商工団体へ出向く必要や換金処理でさらに人件費がかかる等、課題がある現状である。今後現在のP A Yと比較し、検討していく。	産業
81	三本木総合支所	③	市内の新型コロナ感染状況について、市内全体での感染総数の発表ではなく、合併前の旧1市6町別の感染者数を発表できないのか。	感染者数は県で取りまとめており、市では県が公表した数字の発表となっていることから難しい。	宮城県では9月3日から全数把握を見直したことにより、市町村ごとの感染者数は公表されなくなった。	コロナ
82	三本木総合支所	③	三本木総合支所の2、3階をNOSA1宮城に貸し出すことで発生する賃料収入を、大崎市全体ではなく三本木地域に優先して還元することは出来ないか。	御意見として伺う。	御指摘の内容については、議員より一般質問がなされている。 【令和4年第3回定例会市長答弁抜粋】本市における行政財産の貸付料や使用料の充当先については、従来から施設の維持管理費に充ててきたことから、本収入も同様に三本木庁舎の管理経費に充当するものと考えている。賃貸料を市内行政区の活性化のため、各地域へ配分できないかについては、賃貸料収入を特定の財源化とすることは考えておらず、NOSA1宮城に対し、地域イベントなどへの積極的な参加を呼び掛け、人的交流による地域コミュニティの活性化を促進し、NOSA1宮城が三本木庁舎に移転することにより、飲食店や商店などの利用需要の拡大が想定されることから、地元経済に潤いをもたらすものと期待している。	総務
83	三本木総合支所	③	休暇している職員とマスクを外しての接触があった場合は、新型コロナ感染の有無を教えてください。	濃厚接触の定義に照らし合わせて、該当する市民には別途連絡をする体制をとっている。	会場での回答のとおり。	コロナ
84	三本木総合支所	②	子育て支援策拡充の一環として、給食費の無償化には是非検討して欲しい。	御意見として受け止めたい。一方で給食費に関しては義務教育の範囲であり国の管轄となることから、国の動向を注視していく。	会場での回答のとおり。	総務
85	三本木総合支所	③	建設事業への投資が目立つ印象。駅前再開発も含めて、是非長期的な視点に立った政策を実行して頂きたい。	思いをしっかりと受け止めた上で、政策立案等に活かして参りたい。	会場での回答のとおり。	建設
86	三本木総合支所	③	7/15、16の水害を受けて、災害に関しての議員の考えを伺いたい。	災害が発生した都度、迅速に復旧対策や復旧計画を策定している。また関係部署にも働きかけて参る。	会場での回答のとおり。	建設
87	三本木総合支所	③	市内にあるコミュニティセンターの手当等の扱いはすべて同じなのか。	全て同じという訳ではない	コミュニティセンターという名称でも、大崎市コミュニティセンター条例に定める施設と大崎市地区集会所条例に定める施設がある。使用料等についても、それぞれの条例で定められていることから、全て同じ取扱いではない。	総務
88	三本木総合支所	②	浸水対策として、排水ポンプの設置拡充をお願いしたい。	御意見として伺う。	【担当課確認】浸水箇所状況を確認し、今後の対策を検討していく。	建設
89	鳴子総合支所	③	J R東日本鳴子温泉駅の運営面で、3番線は、跨線橋を越えて行かなくてはならず、高齢者や観光客から不評である。1番線が空いていても3番線に到着することがあり、乗客への配慮が感じられず残念である。改善を求めたい。	J R東日本に申し入れを行いたい。	会場での回答のとおり。	総務
90	鳴子総合支所	③	ミヤコーバスの高速「仙台～鳴子線」の終点は車湯である。バスから降りた観光客が温泉街はどこかと運転手に尋ねると、「更に上です。徒歩か、向かいにタクシー会社があるのでタクシーを利用して坂を上って行ってください。」との返事をしてる場面を見て、鳴子温泉は、お客様を大事にしているなとつくづく感じた。なぜ、高速バスが鳴子温泉駅前まで乗り入れられないのか、おもてなしの鳴子温泉なら当然の事ではないのか、改善すべきだ。	ミヤコーバスに申し入れを行いたい。	会場での回答のとおり。	総務 産業

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
91	鳴子 総合支所	①	コロナによる観光客の減少もあり、鳴子温泉の入込数が過去と比較しかなり減っている。土台から変えていく何らかの取り組みが必要と感じている。過去から住民が参加してのワークショップが何度となく実施されてきた。しかし、その場でも出された意見を実現するための取り組みがほとんどなされてこなかった。様々なアイデア実現のために有能な信頼できる外の人材を活用すべきと考えるが、これまでそういった取り組みはなされてこなかった。是非、外部の支援を得られるようにして欲しい。	産業常任委員会において、鳴子温泉の入込数回復策について議論していく。	【産業常任委員会で現地調査を実施】 コロナ禍における鳴子温泉の現状と課題等について調査し、鳴子温泉観光協会からいただいた情報提供や要望、意見交換の成果を、今後の政策審議等に生かしていく。	産業
92	鳴子 総合支所	①	鳴子の現状を変えるためには、今回のような意見交換の場が必要だ。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	産業
93	鳴子 総合支所	②	現在、鳴子温泉川渡地区では六角牧場への風力発電所建設についての是非に関心が集まっている。議会としてどのような議論をしているのか。	一般質問で本件をたじた。市長は住民の声を聴きながらしっかりと対応していくと答弁している。	【令和4年第3回定例会市長答弁】 当該風力発電事業については、これまで住民団体などから事業計画を懸念する御意見等をいただいております。渡り鳥の飛行ルートになっていることの調査結果や観光立市を支える鳴子温泉郷観光協会から、事業計画に反対する意見書がそれぞれ提出されている。 また、巨大な風車を運搬するための、作業道整備に係る森林伐採も、最近の想定を超える大雨による土砂災害が懸念される。 これまでの事業者からの説明では、土砂災害や景観阻害などの懸念事項への対応策が明確に示されておらず、市民の安全・安心に対する不安が解消されていない状況であり、地域住民等の理解が得られているものとは言い難く、現行の事業計画は容認できるものではないと考えている。 本市としては、現在、事業者が行っている環境影響評価法に基づく調査結果や住民団体などの反対、懸念事項への事業者の対応状況を確認し、その上で、地域の方々の御意見等も伺いながら、市としての賛否を明確にして、知事へ意見を申し入れていきたい。	総務
94	鳴子 総合支所	①	移住希望者が増えている。鳴子温泉地域の空き家バンクの登録が少ない。移住定住推進専従の地域おこし協力隊を置けないか。 また、鳴子温泉の観光客を年代別で見ると高齢者に偏っているように思う。これでは、将来性がないのではないかと。もっと子育て世代の観光客が増える様な取組が必要だ。例えば、公園整備を求めたい。子育て世代の観光客が増える観光地であれば、子育て世代の移住者も増えると考えます。	提言として受け止めさせていただく。	本市では、移住支援の総合窓口として、おおさき移住支援センターを開設し、移住施策に取り組んでいる。移住定住推進の地域おこし協力隊の御提言については、執行部に申し伝える。	総務 産業 建設
95	鳴子 総合支所	③	風力発電所の建設の件は、区長会で賛否について議論をした経緯はない。この件は、反対する人、賛成する人、無関心な人と三様だということも理解すべきだ。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
96	西古川地区 公民館	③	洪川、多田川等周辺地域の堤防の豪雨対策はあるか。	現地調査を重ねて、必要な対応について要望していく。	【担当課確認】 流域全体での対応が必要であると考えており、今後、多田川流域検討部会にて、関係機関と連携して対策を検討していく。	建設

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
97	西古川地区公民館	①	小学校の跡地利用について議会として指針はあるか。	まずは地元で方向性をまとめてもらいたい。一方で、岩出山ではワークショップによる地域住民の要望は市に上げているが、予算の関係もあり実現していない。また、活用しようという企業がなかなか手を上げるに至らない。議会では活活用について勉強を重ねているところであり、提言につながるよう努めたい。また、市では所属の枠を超えて検討している。	小学校跡地利活用は、先行した岩出山地区や古川川北地区のとおり重要課題である。市では令和3年度から政策課に「小学校跡地利用調整担当」を新設し、地域の考えを軸に庁内関係各課の調整を図りながら、地域振興や地域活動力向上に資する活用案策定に取り組むとしている。議会もこの方針を踏まえて執行部と議論を重ねる。 なお、岩出山地域の旧真山小学校をジビエ処理加工等施設及び減容化処理施設として整備する計画が進んでいる。	総務
98	西古川地区公民館	③	議会報告会の出席者が少ないことについて原因と対応策はあるか。	市の広報に周知はしているが水害、コロナ等でなかなか周知しきれていない。議会や市政に関心を持っていただける努力をしていく。	会場での回答のとおり。	議運
99	西古川地区公民館	③	高倉地区の大雨被害について、会派ごとに被災地を訪れるのはいかが議会全体で共有されているのか。	会派や議員の調査結果については、議会災害対策連絡会で情報共有している。また、直接担当課にも情報を届け、市の災害対策本部の中でも情報共有し、市の対策などを講じている。議会では、議員全員協議会で、災害状況や支援策等の報告を受け、市の対応等について議論している。	会場での回答のとおり。	建設
100	西古川地区公民館	③	伊藤市長がワークショップをする旨の記事を見たが実施されるのか。	地域、行政共に流域治水の考え方で取り組みを行なっている。地域と共に考える機会を積極的に提案していく。	会場での回答のとおり。	建設
101	西古川地区公民館	③	防災行政無線がうまく機能していないように思える。避難する上での迅速な対応が改善されるのか。講習やマニュアル作りを改める必要があるのではないか。	防災行政無線を夜間にむやみに流すと、夜間の避難となり水没や事故などが起きる可能性が高い。不備点については防災会議等で考えていかなければならない。防災行政無線以外の危険周知方法を構築する必要性を感じている。改めて周知手段を検討するよう執行部に伝える。	8月25日の総務常任委員会で被害状況等災害時の情報発信の在り方についての調査を実施した。 御指摘の点を含めて、引き続き所管委員会で調査、提言を行っていく。	総務
102	西古川地区公民館	③	防災のための情報共有ネットワークの構築をしていただきたい。	要望として受け止める。	会場での回答のとおり。	総務
103	西古川地区公民館	①	ペットのいる家の避難方法について指南いただきたい。	要望として受け止める。	ペットのいるご家庭の避難方法については、ペットをゲージに入れた上で、避難所屋外での飼育等の条件がある。ペットのいるご家庭の避難方法の周知についても、執行部へ提言していく。	総務
104	西古川地区公民館	①	小学校の跡地利用について防災の観点からも利活用について考えているのか。	御意見として伺う。	小学校跡地利活用は、先行した岩出山地区や古川川北地区のとおり重要課題である。市では令和3年度から政策課に「小学校跡地利用調整担当」を新設し、地域の考えを軸に庁内関係各課の調整を図りながら、地域振興や地域活動力向上に資する活用案策定に取り組むとしている。議会もこの方針を踏まえて執行部と議論を重ねる。	総務
105	西古川地区公民館	①	前回、避難場所について加美町との連携してほしいとお願いした。地盤の緩い地域もある。安全に避難できる場所づくりはできないのか。	広域という考え方で対応、連携することのできるよう議論してもらうことは可能だと思っている。提言していく。	【令和4年第3回定例会市長答弁】 近隣の自治体への広域避難については、災害対策基本法の定めにより、当該自治体との協議が必要になり現在、市では、1市4町で取り組んでいる大崎定住自立圏共生ビジョンの協定を基に、地域防災力の充実強化に関する協議を進めており、水害時の広域避難についても、担当課長会議などにおいて意見交換を行っている。	総務
106	西古川地区公民館	②	少子化対策について、市で考えている対策はどのようなものか。	子育て政策への対策として子ども医療費の18歳までの無料化を実施している。	令和4年10月受診分から、子ども医療費の助成対象者が拡大された。これまでは15歳までが対象だったが、18歳まで拡大され、さらに所得制限についても撤廃された。今後も少子化対策を調査し提言していきたい。	民生

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
107	鹿島台 総合支所	③	アフターコロナについて、コロナは終わったとの認識なのか。現状、大崎市は仙台市に次いで感染者が多く、特に40代以下の人達が半数である。コロナ感染に対する認識が甘いのではないか。感染すれば後遺症があり、特に子ども達は一生背負っていくことになる。妊婦、幼稚園、小中学生への対策もしっかりすべきである。	感染防止対策と経済対策の両輪でアフターコロナに向かっていくとの思いでテーマを掲げており、ウイズコロナが正しい。 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会からも、コロナにかからない、うつさないの基本的な意識を、市民に今一度再認識するよう喚起することを要望していく。また、若い世代が感染しているので、コロナに感染した時のリスクと、ワクチン接種をした場合のリスクを、正しい情報を示しながら、ワクチン接種率を上げるような対策を要望していく。なお、大崎市コロナ対策のウェブサイトを常に最新のものに更新することを提言している。	会場での回答のとおり。	コロナ
108	鹿島台 総合支所	①	アフターコロナは何処から言うのか。経済対策だけでなく、生活弱者に対する対策をもっと図るべきである。	住民税非課税世帯に対しては、燃料費の支援を1世帯5千円給付した。子育て世帯に対しても18歳以下に1万円を支援している。	会場での回答のとおり。	コロナ
109	鹿島台 総合支所	③	姥ヶ沢に水害対策として防災調整池を整備したが、この前の大雨では満水となり、もう一つの防災調整池が完成しても水害が防げるのか心配だ。内水が流れる水路の対策を併せて実施して欲しい。	内水対策は防災調整池と併せて、巳待田排水路整備や抜本的な対策が必要である。今後も委員会で協議しながら、関係機関に要請していく。	【担当課確認】 鹿島台地域における公共下水道の雨水事業につきましては、姥ヶ沢地区の浸水対策として、これまで巳待田調整池の増設と姥ヶ沢ポンプ施設が完成しており、巳待田第2調整池についても今年度末の完成に向けて整備を進めている。今後も、引き続き事業計画に基づき事業を実施し、流下能力が不足している雨水幹線整備などの検討を進め、鹿島台地域市街地の浸水被害の軽減に向け整備を進めていく。	建設
110	鹿島台 総合支所	②	大迫地区では鶴田川に排水出来ず、先日の大雨で内水があふれた場所がある。排水ゲートが閉じたままだったため、冠水が解消するまで時間を要した。どこに責任があるのか大きな問題である。土地改良区は管理する施設や設備が多いので、地元で管理して欲しいとの事だが、人的にも技術的にも問題がある。何とかして欲しい。	大雨の際に土地改良区に確認したところ、当該地区の排水ゲートが故障していたとのことで早期に修繕を図るよう要請した。なお、国交省の排水ポンプ車にも排水して頂いたが、規模の大ききから冠水解消には至らず、排水ゲートの応急修理が完了し排水したところ、半日程度で冠水が解消した状況であった。日頃から施設・設備の点検等を実施し、再発防止が図られるよう関係機関に要請したい。	【担当課確認】 再発防止のため、大雨時に迅速な操作を必要とする主要施設の日常点検を徹底するとともに、ゲート操作の管理体制を定期的に情報共有する。	建設
111	鹿島台 総合支所	③	志田谷地地区では、大雨時には大郷町大松沢地区からも水が激しく流入して、なかなか引かない状況となる。3年前の冠水被害の経験が生かされていないと思うが対策をして欲しい。また、職員も地区が分からないので災害時には特に大変だと思う。	県では、大郷町との境の県道をかさ上げするかどうかを検討しているとの情報を得ている。 上志田地区は、大雨時には常に水の流入に悩まされている現況なので、議会としても県・市に対し対策を図るよう強く要望していく。	【担当課確認】 道路の嵩上げによる氾濫水の制御は、流域が一体となって水害の被害を軽減する方策として有効な手法の一つであるが、地域によっては浸水被害を大きくしかねないなど、上下流など地域間での調整が必要となる可能性がある。流域の関係自治体と連携を図るとともに地域住民の理解を得たうえで、道路管理者への政策提言に繋げるなど、水害に強いまちづくりの実現に向け、取り組んでいく。	建設
112	鹿島台 総合支所	③	岩出山地域の汚染稲藁の焼却では、放射能の汚染灰が発生しているが、内部被ばく対策がとられていない。次世代に禍根を残さない対策をすべきでないか。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
113	鹿島台 総合支所	③	イベントを実施する場合、県・市のウェブサイトを確認しても情報が古く、以前のコロナ対策が掲載されているが、改善すべきではないか。また、本市のコロナ感染症対策への指針を分かりやすく示すべきだ。こうすれば大丈夫だと言う基準はないのか。	BA5のコロナ対策は、8月5日に県知事から発表され県・市のウェブサイトにも掲載されたが、個別の感染防止対策は以前のもままであり、また必要とする情報までたどり着きにくく分かりにくい。 改善が図られるよう要請したい。	会場での回答のとおり。	コロナ 総務
114	鹿島台 総合支所	③	発災した場合に、地区では誰が最初に動くのか問題になっている。各団体の役員が一人で回っていたが、二次災害となる場合もある。どうしたらいいのか考えていくべきだ。	自主防災組織・消防団・行政等の初動に関してそれぞれが役割を理解し、事前に周知・確認した上で災害時に対応する必要があると考える。災害時の行動計画について、議会でも尚更周知と現状調査に努めたい。	会場での回答のとおり。	総務

No.	会場・団体	テーマ	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
115	鹿島台総合支所	③	三本木パークゴルフ場は、どうしてあのようなゴルフ場になったのか。しっかり整備し快適なプレーが出来る様にして欲しい。	三本木パークゴルフ場は、議会でも度々議論してきたが、今後の補修や整備に対する調査や検証も果たしていきたい。	【担当課確認】 三本木パークゴルフ場については、現在、コース改善に向けた工事を実施しており、引き続き指定管理者並びに施工業者と協議を行いながらコース改善を進めるとともに、利用者に喜ばれるパークゴルフ場になるよう努めていく。	建設
116	鹿島台総合支所	③	田尻地域の加護坊パークゴルフ場は、クラブハウスが手狭なので広くして欲しい。	御意見として伺う。	【定例会一般質問市長答弁】 限られたスペースの中で、構造的、財源的なことも含めて、検討していきたい。	産業
117	鹿島台総合支所	③	人口減少対策によって、人口が増えている自治体もある。鹿島台地域は、駅前東西線を活かして人口増加に繋げて欲しい。	御意見として伺う。	鹿島台駅東西線の整備を契機に、交流人口の増から人口増加を見据えたにぎわいの創出につながる事業の方向性について、所管委員会でも引き続き、調査、提言等を行っていく。	総務 産業 建設
118	鹿島台総合支所	③	鹿島台公民館は基幹公民館だが大変老朽化しており、図書室には窓もない状態である。新たに整備する計画はないのか。鹿島台駅東西線の整備に併せて、隣接する現農地に移転できないのか。	基幹公民館の整備計画は委員会でも調査したい。	【令和4年第3回定例会教育長答弁】 昭和53年度に開館した鹿島台公民館は、建築後44年が経過し施設の老朽化が進んでいるが、修繕やトイレの洋式化などを実施し、利用者が安全安心に利用できる環境整備に努めてきた。 今後の鹿島台公民館のあり方については、大崎市公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき、施設の長寿命化に向けて各種点検結果などを踏まえた計画的な修繕を実施していく。	総務
119	鹿島台総合支所	②	学校図書の購入・充実を、国の補助も活用して進めるべきではないか。	学校図書の現況や国補助の活用状況は委員会でも調査したい。	【令和4年度予算特別委員会での答弁】 学校図書館の蔵書整備については、文部科学省の学校図書館図書標準に基づき整備に努めている。図書標準を基に、各学校の基準額を算定し、予算計上をしておりこれまでも、図書基準を満たしていない学校に対して、上乘せして予算配分している。 【担当課確認】 現状、各校図書基準を満たす蔵書数を整備できていることから、国の補助は活用していない。	総務
120	鹿島台総合支所	②	鹿島台学童農園の設備も老朽化しているが、リフォームすべきでは。	鹿島台学童農園の広報・周知も含め、現況を調査し必要な箇所の整備を要請、提言したい。	【令和4年度予算特別委員会執行部答弁】 鹿島台学童農園は、小学生、中学生など、次世代を担う青少年に自然に親しみながら農業体験を通じて勤労の大切さと収穫の喜びを体験させ、意欲あふれる農村の後継者を育成することを目的とする重要な施設と認識しており、今後の改修計画につきましては、公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、利活用計画を含めて改修計画を早急に作成し、年次計画により実施設計業務、大規模改修工事と進めていく。	総務
121	鹿島台総合支所	③	大雨の際に避難所に行ったが、パーティションや体調管理表もなかった。事前のシミュレーションや訓練が必要ではないか。受付も不十分と感じたので、改善して欲しい。	避難所開設においては、各避難所に対してに差異があったと認識している。今後の災害時の避難所開設でも大変参考となり、委員会でも避難所開設時の体制について調査したい。	8月25日の総務常任委員会において、避難所運営等についての調査を行い、パーティション等の資機材の避難所一様の設置、準備についての提言を行った。 執行部に確認したところ体調管理表の代わりになるものとして、健康チェックは実施していたようであるが、避難者の体調を十分に配慮した避難所運営、対応については引き続き求めていく。 また、受付が不十分との御指摘については、執行部が実施している避難所開設訓練等の中で重点的に取り組むよう提言していく。	総務 民生

令和4年 議会報告・意見交換会（地域での開催）

【提言書としていただいた御意見等】

テーマ：アフターコロナにおける
 ①…地域経済回復及び活性化策
 ②…子育て支援策（宮城県において合殊出生率1.15）
 ～議会に期待すること～
 ③…市政に関する御意見・御提言等

所管委員会等：議運…議会運営委員会
 総務…総務常任委員会
 民生…民生常任委員会
 産業…産業常任委員会
 建設…建設常任委員会
 情報化…情報化対策特別委員会
 コロナ…新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会
 会派…会派代表者

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
1	古川	①	①農地を生産ができる取り組みを進めて、住民、若者、学生を含めて参加し、市民全員が食べることに困らないように、産地としても力をつけられるように市民全体で取り組むリーダーと（市は）なってほしい。 ②空家を市で管理し、安く若い世代に貸して、住民を増やす取り組みをする。（家賃5,000円、1万円など）	①ご意見として伺い、執行部担当課へ申し伝える。 ②空き家はあくまでも個人の財産であり、市で管理することには様々な課題があるが、御提言の空き家を活用した移住支援については、本市では、移住支援の総合窓口として、おおさき移住支援センターを開設し、各種相談等に対応しているほか、大崎市空き家バンクを運用し、空家活用の移住の推進している。引き続き、委員会でも調査に努め、支援策について提言を行っていく。	①産業 ②総務
2	古川	②	①保育園、幼稚園への親の負担軽減 ②小中学校の給食費の無料化（教育費の負担軽減） ③国、県と力を合わせて、専門学校、大学の授業料の奨学制度（返還なし）の整備	①3歳以上児の保育料は無償となっており、3歳未満児は父母の市民税所得割の課税状況により決定される。副食費においても3歳以上児クラスでは、父母の市民税所得割の課税状況により、軽減している。また、兄弟が入所している場合やひとり親世帯などにおいても軽減をしている。 ②給食費の無償化等については子ども子育て政策、子育て世帯支援策の一環として、財源の議論も含め議論を深めていく。 ③【令和4年第3回定例会市長答弁】 人材確保の有力な手段としての「奨学金返還支援制度」実現の見通しについては、本制度は地方移住者や故郷に戻ってくる人、地方に就職する若者などを対象として奨学金の一定額を自治体または、企業と共同で資金を持ち寄りながら助成する制度として実施されております。今後も、移住支援策や地元雇用対策としての効果などを含め、実施自治体の情報収集に努めてまいります。	①総務・民生 ②総務 ③総務・産業
3	古川	③	急な豪雨時に水路が満水になるので、車の移動先の確保（福浦、江合寿町）	本年7月の大雨の際には、民間事業者に御協力をいただき、車の移動先（立体駐車場等）を確保し、ウェブサイト等で周知をした。 引き続き、民間事業者等との連携を密にしながら、車の移動先、避難先の確保、周知に努めるよう、執行部に提言していく。	総務

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
4	古川	②	コロナに感染した子供の配慮について（いじめにならないように）	市議会では、令和2年10月に新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書として「学校や地域において、子どもが感染しても偏見によるいじめを生じさせない指導や環境づくり、子どものサポート体制を整えること」の項目を挙げ、市長に提出した。 執行部からは、「学校現場では、感染者等に対するいじめや差別、誹謗中傷は絶対にあってはならないという指導を感染防止教育と合わせて展開している」との回答があり、その具体的な指導内容や配慮体制についても市議会では確認をしている。 なお、市議会ではこれまで8回にわたり、市長へコロナ感染症対策に係る緊急提言を行っている。	総務 コロナ
5	松山	①	①B/Cを考えて対応しているとは思いますが、事業者も含めてベネフィット（便益）が政策経費を上回る内容となっていない感があるこの部分を精査していただきながら取り組んでいただきたい。 ②早期に区長（特公）の問題と全体の区の数をもっと減らしていかないと、時代から遅れる。360は多すぎる（情報の伝達が早い）	①御意見として伺い、執行部担当課へ申し伝える。 ②御意見として伺う。	①産業 ②総務
6	松山	②	教育及び子ども育成においては、宮城県は多くの問題がある。特に学校の統廃合も含めて、教育環境の未来感が欠けている。 通学時間の要する場所への新高校設置案もそうであるが、生徒の来ないところ、先生の負担となる場所への建設は県費の無駄である。	御意見として伺う。	総務
7	松山	③	補助金主体の政策ではなく、長期展望を確立に進めること。 何年経っても合併当初の考え方が実行されていない。 防災エリアメールを大崎市でも実施いただきたい。	御意見として受け止める。 「防災エリアメール」については、緊急速報メール（エリアメール）のことと思われるが、本市でも既に運用している。発信する情報の内容は、全国統一の利用規約で決まっており、各自治体の判断で自由に決定できるものではないことを申し添える。	総務
8	松山	①	商品券の発行は（今年はないが）紙の商品券も必要です。（商店も住民も使えない人が大半）	【対応状況】 今年度はデジタル商品券（パタPAY）と商品券等発行グループ支援事業を実施しており、松山地域でもコスモスまつりの時期に事業を行っている。	産業
9	松山	②	給食の無償化 30人学級の実現（国への要望） 大崎市独自でも法的には（財源が問題だが）	御要望として受け止める。	総務
10	松山	③	建物の跡地活用は。 1. 小中学校統廃合 2. 古川の中心部に新庁舎に伴う、旧庁舎の建物活用は。	1, 市では政策課に「小学校跡地利用調整担当」を設置し、地域の考えを軸に庁内関係各課の調整を図りながら、地域振興や地域活動力向上に資する活用案策定に取り組んでいる。議会もこの方針を踏まえて執行部と議論を重ねている。 なお、岩出山地域の旧真山小学校をジビエ処理加工等施設及び減容化処理施設として整備する計画が進んでいる。 2, 新庁舎供用開始に伴う、旧庁舎の活用方法については、利活用検討チームを設置し、議論を行ってきたところである。三本木庁舎では、空きスペースを民間事業者に貸付することで整備が進んでいる。	総務

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管 委員会等
11	古川	①	4割増商品券の発行 農業（米）対策として、10キロの米無料配布を	今年度はデジタル商品券（パタ PAY）で4割増商品券を発行 している。 米の無料配布については、ご意 見として伺い、施行部に申し伝 える。	産業
12	古川	②	大学（22歳）まで、すべて市が補助する 未婚率（54%）の解消、少子化対策、移住等のメリットが考えられる	御要望として受け止める。 婚活、移住支援等については、 本市でも取組を行っており、引 き続き、委員会でも調査・研究 を重ね、執行部に提言を行って いく。	総務
13	古川	③	市役所広場に新たな名所「噴水」を	新庁舎の広場に噴水を設置する 計画は現在未定である。	建設
14	古川	②	少子高齢化に伴い、「まちづくりの具体化」の論議を教えてください	【令和4年第3回定例会市長答弁 抜粋】 大崎市誕生以来、市民と行政が 一体となり共に行動できる協働 のまちづくりを目指し、行政は まちづくり協議会や地域づくり 委員会等の地域自治組織の活動 支援に努め、各地域自治組織に おいては、地域の特色を生かし ながら、各種課題の解決や様々 な地域活動を展開している。 一方で、合併から16年が経過 し、社会情勢の変化に伴い、地 域自治組織における役員の高齡 化、担い手不足といった地域課 題が顕在化し、役員の重複化の 解消、若い人財のまちづくりへ の参画など具体的な取り組みが 求められている状況にある。 現在、これまでの地域自治組織 の活動を振り返り、改めてまち づくり協議会や地域づくり委員 会の存在意義や目的、機能や役 割を検証し、将来に向けた地域 自治組織の方向性や支援のあり 方について、政策アドバイザー の提言のもと、庁内検討を進め ている。	総務

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管 委員会等
15	古川	③	15年経過した大崎市、市職員を半減させたことによる旧6町の役場＝支所の状況は 世界農業遺産、カーボンニュートラル、SDGsの具体的な取組事項の議論を教えてほしい	<p>【令和3年第3回定例会市長答弁要旨】 合併以降、定員適正化計画により職員数を400人削減してきたことや、業務の本庁集約化を図ってきたことにより、総合支所の規模はこの15年でスリム化しており、職員数も合併時と比較すると減少している。 近年の市民ニーズの多様化や行政事務の複雑化により、総合支所の役割が地域の窓口業務に留まらなくなっている一方で、限られた人材で行政効果を発揮しなければならないことも事実だが、それぞれの総合支所内で抱える個別の課題に対しては、本庁の関係課と連携し、迅速に対応できる体制整備を整え、総合支所との連携を密にして、市民サービスの低下にならないよう行政運営を進めていく。</p> <p>②【対応状況】 世界農業遺産については、アクションプラン推進会議において、3本の柱であるフィールドミュージアム構想検討部会、認証制度検討部会、人材育成検討部会に分かれ、各分野の取組について議論を行っている。 カーボンニュートラルについては、国が示すエネルギー基本計画、大崎市環境基本計画などの各種計画に基づき、二酸化炭素の排出量削減に向けた施策を展開しているが、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、現状の整理と取り組みの方向性を示していく。 SDGsについては、世界農業遺産に関係するステークホルダー会議、生物多様性の専門家による会議などを開き、市民セミナーなどの普及啓発や生物多様性調査などの取組の共通認識を図っている。</p>	①総務 ②産業
16	鳴子温泉	①	子どもから高齢者、湯治客、観光客が利用できる公園の整備（鳴子温泉） 子ども向けの遊具及び高齢者のための健康遊具の設置	<p>【担当課確認】 現在、鳴子温泉駅前に湯めぐり広場を設けており、観光客の方も住民の方も自由に利用できるようになっている。ただし、遊具に関しては、温泉地であるため錆びやすいことや、豪雪地帯であるため樹脂系遊具であっても、冬期間の積雪による損壊防止のため除雪が必要となったりと課題も多いことから、設置していない。健康遊具の設置との提言ですが、鳴子スポーツセンターなどの屋内施設があるので、そちらの施設の有効活用を図りたい。</p>	建設
17	鳴子温泉	②	アフターコロナにおいて、自然豊かな環境、少人数の学校に通わせたいという移住を検討している子育て世代のニーズは多い。地方での子育てを希望する世帯のための空き家対策が急務。 移住定住推進専従の地域起こし協力隊の募集	御意見として伺い、執行部へ提言し引き続き、所管常任委員会でも調査をしていく。	総務

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
18	鳴子温泉	③	再エネ問題については、県知事をはじめ、与党を中心に反対に動き出しているのので、大崎市も乗り遅れないように議会でもしっかり議論しましょう。	多くの議員が一般質問等で取り上げ、活発な議論が行われている。 【令和4年第3回定例会市長答弁】 当該風力発電事業については、これまで住民団体などから事業計画を懸念する御意見等をいただいている。特に、渡り鳥の飛行ルートになっていることの調査結果や観光立市を支える鳴子温泉郷観光協会から、事業計画に反対する意見書がそれぞれ提出されている。 また、巨大な風車を運搬するための、作業道整備に係る森林伐採も、最近の想定を超える大雨による土砂災害が懸念され、これまでの事業者からの説明では、土砂災害や景観阻害などの懸念事項への対応策が明確に示されておらず、市民の安全・安心に対する不安が解消されていない状況であり、地域住民等の理解が得られているものとは言い難く、現行の事業計画は容認できるものではないと考えている。 本市としては、現在、事業者が行っている環境影響評価法に基づく調査結果や住民団体などの反対、懸念事項への事業者の対応状況を確認し、その上で、地域の方々の御意見等も伺いながら、市としての賛否を明確にして、知事へ意見を申し入れる。	総務
19	鳴子温泉	③	旧鳴子町における上野々スキー場（戦後の農産開拓地）の地権者への返還、或いは代替地交換等、善処いただきたい。	【担当課確認】 上野々スキー場及びその周辺地については、国土調査法に基づく国土調査により地籍が確定しており、本市において返還すべき土地は無いものと認識している。	産業
20	田尻	③	北上川の柳津分流堰の調整対応について、3年前の台風19号での山王川決壊における柳津分流堰を止めなかった。 北上川河川管理事務所の対応が悪いと思う。	【担当課確認】 柳津分流堰の運用については、北上川下流域の多くの河川に影響することから、関係する河川管理者の北上川下流河川事務所や宮城県へ管理方法について確認を行っていく。	建設
21	田尻	①	復活イベントへの補助金の申請手続きの簡素化 補助金の使途の拡大	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管常任委員会でも調査していく。	総務
22	田尻	②	企業誘致への働きかけの推進 避難所となっている沼部公民館の軽運動室にエアコンを	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管常任委員会でも調査していく。	産業 総務
23	田尻	③	地域公共交通の基本は、福祉政策としての位置づけ、料金を安くする。 免許返納者には、ずっと割引を続ける。 地域内のある史跡の整備と歴史に面白さを伝える	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管常任委員会でも調査していく。	総務
24	三本木	①	9月より、経済活性化を図るパタP A Yが実施されますが、今年12月25日に終了となります。来年の1月より3月にかけての活性化の具体的な政策に期待します。	【担当課確認】 現在パタP A Y運用中のため、データがまとまり次第、来年度以降に活用していく。	産業

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
25	松山	②	大胆な施策を期待します。 例えば、出生時に50から100万円位の祝金の贈呈などで、出生率を上げるのも選択の1つではないか。	【令和4年第3回定例会市長答弁】 県内でも、出産祝い金や一時金を支給している自治体は見られるが、少子化対策の側面を見た場合、その効果は限定的であるように感じている。少子化対策については、子育て支援の充実はもとより、雇用創出、住宅供給、医療、教育など多岐にわたる取組の相乗効果により魅力を上げていくことが必要であると認識している。 本市としては、一時的な給付事業の実施というよりも、子育て世代包括支援センターにおける保健師の関わりや、子育て支援拠点施設における子育て世帯を対象とした事業などを実施しており、既に妊娠期から出産・子育てに至るまで継続的な支援を行っていきたい。	総務 民生
26	三本木	①	2020年、2021年と延期されていた姉妹都市ダブリン市への高校生の派遣事業を2022年の事業として3月に派遣すべく、大崎市広報9月号で参加者を募集します。 1998年から続く、姉妹都市の交流の絆を絶やすことなく続けていきたいと思えます。実現できるかどうか不確定なこともあり、不安ではありますが、大崎市議会としても引き続きご理解とご支援をお願いいたします。	市議会としても、引き続き支援をしていく。	産業
27	三本木	②	医療機関と同様に保育所、幼稚園、学校などの教育現場は、新型コロナの対策で厳しい状況にあります。以前より、教職員の勤務状況は人員不足によって厳しいものがありました。 大崎市としてもできる範囲で補助教員、支援員の確保などの支援策の強化が望まれると思えます。また、同時に教育環境の充実によって、児童生徒の基礎学力の向上について、地域全体として考えなければならないと思えます。子供たちはとてもストレスの多い生活を強いられています。家庭環境も含めて、地域全体で教育現場を支える努力が求められていると思えます。教育の分野について、大崎市としてできることは限られると思えますが、教育の現場を支援する施策をぜひご検討いただきたいと思えます。	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管常任委員会でも調査していく。	総務
28	三本木	③	現在、新庁舎の建設が進み、地域交流センターも活発に活用され、市役所周辺の整備も整いつつあります。新しい環境での行政の手腕に大いに期待するものです。とはいえ、新型コロナの感染拡大への対応や多発する自然災害の対策で大変な時代を迎えつつあることも懸念されます。次々と起こる不測の事態に対応しながらも、市民のために働いていただく職員の皆様、市長をはじめ大崎市の執行部、そして市議会の皆様のますますのご活躍にご期待申し上げます。	御意見として伺う。	—
29	三本木	①	来年度の新本庁舎供用開始後、現在の三本木庁舎の空き空間をNOSAI宮城へ賃貸する場合における賃貸料収入の財源充当（使い方）について、三本木庁舎は、旧三本木町民の税金で建てたものであり、一般会計に繰り入れて、広く薄く使われるのでは、旧三本木町民は納得しないでしょう。	御指摘の内容については、議員より一般質問がなされている。 【令和4年第3回定例会市長答弁抜粋】 本市における行政財産の貸付料や使用料の充当先については、従来から施設の維持管理費に充ててきたことから、本収入も同様に三本木庁舎の管理経費に充当するものと考えている。 賃貸料を市内行政区の活性化のため、各地域へ配分できないかについては、賃貸料収入を特定の財源化とすることは考えておらず、NOSAI宮城に対し、地域イベントなどへの積極的な参加を呼び掛け、人的交流による地域コミュニティの活性化を促進し、NOSAI宮城が三本木庁舎に移転することにより、飲食店や商店などの利用需要の拡大が想定されることから、地元経済に潤いをもたらすものと期待している。	総務

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
30	三本木	③	都市計画税の三本木地域への投下が目に見えない。	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、都市計画税の在り方については、所管常任委員会でも調査していく。	総務
31	三本木	①	地域における状況等、せめて区長等の確認があっても良い	御意見として伺う。	総務
32	三本木	②	養育の保証実現、学校の給食の支援等	児童手当、児童扶養手当（ひとり親家庭等）、18歳までの医療費の無償化を実施している。また、原油価格や電気ガス料金を含む物価高騰のため、子育て世帯応援給付金の支給を実施した。今後も子どものための手当など調査・研究を重ねていきたい。	総務 民生
33	三本木	③	議員皆様、有意義に活動を願います。	御意見として伺う。	—
34	三本木	①	地域経済が良くなると若い人達が住まれるように。会社の誘致をしない限り、成長は望めないと考えているので、直ぐ立ち上がってほしい。 災害に強い市（特に水害）になるように、第一に考え実行することである。 林業、畜産、米作、野菜、商店、工業等が発展しなければ、市の衰退になる。	御意見として伺う。 【担当課確認】 三本木スマートインターチェンジ東部工業団地をはじめ、市内の候補地を企業に提案しているが、なかなか誘致に結び付いていない状況である。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、企業側の意向もあり、ここ2年半は積極的な企業訪問はできていないが、コロナの感染状況を見ながら企業訪問活動を再開していきたい。	①総務 ②建設 ③産業
35	三本木	②	子供たちが楽しい思い出を作れるような、環境を作るように、早めにスタートをするようにして下さい。 三本木新世紀公園を子供たちの遊び場に、ぜひ有効活用してほしいです。	【担当課確認】 新世紀公園については現在、三本木まちづくり協議会と連携して、地域の憩いの場となるよう環境整備を進めている。	建設
36	三本木	③	三本木地域から古川の市民病院経由の古川駅までの巡回定期バスを運行するように提案します。（三本木地域内では用事が出来ない） 特に、高齢者が多くなっている（免許なし）、旧国道4号沿いは乗れないです。（タクシー）	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管委員会でも調査していく。	総務
37	松山	③	大崎市住民バス利用に関するアンケートの調査実施。 全公共施設にWi-Fiの設置。 住民健康診断の体制見直し。	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管委員会でも調査していく。 【住民健康診断の体制見直しについて】コロナ感染症対策のため、令和2年度から特定健診と各種がん検診を分けて実施していたが、順次、1日で終了することができる総合検診に戻していく予定である。古川地域は広い会場の確保ができないため、今後も特定健診と各種がん検診を分けての実施となる。また、待ち時間の短縮のために、健診団体と調整を行っているが、混み具合も日によって待ち時間が長く生じてしまう会場もあるのが現状である。今後も、健診体制の見直しや利便性について提言していきたい。	総務 民生
38	古川	①	西古川小学校廃校後の地区振興発展にご指導、ご協力、発展を。	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管委員会でも調査していく。	総務
39	古川	③	氷室地区を流れる渋川堤防の災害工事と増幅による強靱対策 旧渋川の水害対策と橋梁改修か誘排水路の設営	【担当課確認】 渋川の災害復旧工事の内容と今後対策について宮城県に確認し、提言内容を伝えていく。	建設

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
40	古川	②	経済的支援 医療費助成（高校まで延長） ランドセル購入補助 給食費無償化	令和4年10月受診分から、子ども医療費の助成対象者が拡大された。これまでは15歳までが対象であったが、18歳まで拡大され、さらに所得制限についても撤廃された。 ランドセル購入補助と給食費無償化等については、御意見、御要望として承る。	総務 民生
41	古川	②	沢山ありますので、今後、地元の議員を通して伝えていきたいと思います。	御意見として伺う。	—
42	古川	①	①コロナ禍でも生き残っている事業所を大事にしたい、最近旧古川市内にも若者対象の光のお店の出現が散見される、公の役目として経済支援よりも環境整備の方が優先されるべきで、例えばそれぞれの地域の駅前の整備（特に古川駅は大崎市の玄口だが歩道などの雑草繁茂が酷い）、や各事業所が面する市道国県道の環境整備（除草・清掃作業）に注力して頂きたい。 ②世の中はDX時代に突入している、幸いにも市内にはアルプスさんが存在している、この企業さんを活用支援し、特に農業分野のDX化を産業政策の中心に据え、周辺に存在する高専や工学系大学の、アルプスさんを睨んだシーズが集積するような受け皿創設や古川農業試験場の利活用方法も併せて考えて頂きたい。	①環境整備につきましては、市道の除草及び清掃活動について、道路愛護団体等のご協力をいただいております、植樹帯の管理につきましては、市内各路線において除草・剪定作業を行って、繁茂状態を考慮しながら対処していくよう努めていく。国県道については、管理者へ働きかけをしていく。 【担当課確認】 ②調査、研究し、対策等を検討していく。また、執行部担当課へ申し伝える。	①建設 ②産業
43	古川	②	○多世代同居の素晴らしさを啓蒙すべきだ、また若者の移住・定住・結婚を促すには安定した働き先の確保が重要で、例えばアルプスさんやYKKさん等と提携し、定期採用では農業従事者を含む市内在住者を優先的に採用して頂き、あわせて「農作業シフト」を導入した雇用形態も提供して頂く（もちろん採用企業には何らかのインセンティブを付与する）など、工夫の余地があるのではないかと考える。	調査、研究し、対策等を検討していく。また、執行部担当課へ申し伝える。	産業
44	古川	③	①東大崎小学校の閉校が地域課題としては大きい、活用策を提言しているが予算がないとの事だ、お隣の西大崎小学校跡地活用策提言書も苦勞して策定したようだが、その後の対応がなく地域全体に無力感を植え付けている、古川のまちづくり協議会でも話題にならないのが不思議だ、地域にとって大問題のこの分野の予算がないのであれば国や県に対して予算要求をすべきだと考える。 ②小学校統合先の古川西中学校の増築整備が進んでいるが、周辺の道路を含む環境整備、特に東大崎から学校への取り付け道路（農業試験場の西側の道路から渋井川にタッチし下流に向かって機織り橋までの区間）の整備および冬季間の除雪について特段の配慮をお願いしたい。 ③世界農業遺産（GIAHS）への理解と活用策が浸透しない中で、新たに「SDGs 未来都市」への取り組みが推進されようとしている、大崎市総合計画中間見直しで整合性を取ったようだが（それぞれのゴール年次は違っている事は置くとしても）、そのゴール（ビジョンたる市の姿）が明確でないと感じる、GIAHSの推進が「SDGs 未来都市」への近道だが、その市民への啓蒙を進める為にも、住民自治の推進の旗振り役である「古川まちづくり協議会」には逐次情報提供をして頂きたいと思っている。 ④さらなる議会改革では、意見交換会でも取り上げられた「会派ごとの災害現地視察と問題の共有」について、アジャイルな議会対応やさらなる定数削減も視野にある事から、この際派制を廃止し、法的に所属義務のある常任委員会制中心に議会対応する時期を迎えているのではないかと、この事によって公党だけの会派や一人会派などといういびつな状況を解消できるのではないかと考える。	①御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管常任委員会でも調査していく。 ②スクールバスや保護者の車両送迎については、南側から進入し停留所や駐車場スペースを利用するため、学校周辺の再整備については行わず、学校側から保護者へ送迎経路の周知を行い対応していただくよう調整している。また、冬季間の除雪については、これまで同様通勤・通学時間帯までに作業を完了させるよう努めていく。【担当課確認】 ③世界農業遺産については、アクションプラン推進会議において、3本の柱であるフィールドミュージアム構想検討部会、認証制度検討部会、人材育成検討部会に分かれ、各分野の取組について議論を行っている。 カーボンニュートラルについては、国が示すエネルギー基本計画、大崎市環境基本計画などの各種計画に基づき、二酸化炭素の排出量削減に向けた施策を展開しているが、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、現状の整理と取り組みの方向性を示していく。 SDGsについては、世界農業遺産に関するステークホルダー会議、生物多様性の専門家による会議などを開き、市民セミナーなどの普及啓発や生物多様性調査などの取組の共通認識を図っている。	①総務 ②建設 ③総務・産業 ④議会改革
45	岩出山	③	大崎市上川原町の砂川の整備についてのお願ひがあります。昔ながらの川幅が3分の1くらいになり、先日の大雨は、この地（石田議員の実家の通りです）に住んで初めてです。見回りお願いします。	【担当課確認】 草が生えて川幅が狭い所につきましては、現在、業者に撤去作業を依頼している。	建設

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
46	古川	②	明石市のような政策を	御意見として伺う。	—
47	古川	②	古川西中へは南側からは車が入りやすいが、東大崎から機織橋まで道路拡幅や舗装など、北側からのアプローチを可能にするような学校周辺の再整備についても必要かと思う。	【担当課確認】 スクールバスや保護者の車両送迎については、南側から進入し停留所や駐車場スペースを利用するため、学校周辺の再整備については行わず、学校側から保護者へ送迎経路の周知を行い対応していただくよう調整している。	建設
48	古川	③	1. 電子投票の検討をしてほしい 1. 考え始めたきっかけ ①2014年12月の衆院選、仙台市選管の「白票水増し事件」、そして隠ぺい問題が起きる。逮捕者も出た。過去数年さかのぼると、集計が合わないときは「持ち帰り票」として安易に処理されていたことが発覚。その後、第三者委員会の再発防止策の報告書、議会の調査委員会があった。入念に対策マニュアルをまとめて、リハーサルもした。しかし翌年8月の仙台市議選、10月の県議選でも不祥事が続き、2017年10月の衆院選でも集計が合わず開票が未明までかかった。 ②民主主義の基本の選挙で、2度も3度もミスが続くようでは、候補者陣営にとっては、はなはだ迷惑であり、有権者にとっては選挙や開票に対する信頼が失せ、選挙意欲も無くなり、投票率の低下につながってしまう。 ③衆院選では、特に比例代表で、政党名でも個人名でも投票できるシステムで、投票する側は、例えば「民主」と書いてしまえば無効票になったり、政党と個人名を一緒に書くと無効になったり、「いわぶち」とだけ書くと按分票になったり、せっかくの1票が結果に反映されない。データでは1.3%が無効票だ。一方、開票する側は、手書きの投票用紙を、数十名の個人名や政党ごとに分類しなければならず、全職員総出である。また、立会人や開票責任者は、疑問票の判断で労力を要する。 2. 電子投票の優位性 ①投票する側は、タッチパネルで出来るし、書き間違えが起きない。開票側は、疑問票や按分票の処理がなくなる。開票は公正、正確で時間的にもかなりメリットがある。 ②高齢者や若年層も投票しやすく、投票所へ足を運ぶハードルが下がり、投票率の向上、民意の向上につながる。 3. 過去の例と、懸念材料 ①過去03年に白石市議選で実施した。その後いくつかの自治体選挙で実施の例がある。03年の白石市議選は、機械やシステムのトラブルがあったようで、また当時は導入コストが高かったようだ。こんにち、21世紀のIT時代、それらは解決可能と考える。 ②現在は岡山県新見市、青森県六戸町を最後に途絶えてしまった。 ③本来的には総務省レベルで検討し、法律改正して国政選挙で実施すべきだ。超党派で電子投票、ネット投票の勉強会も行われた。自治体選挙は条例を制定すれば実施できる。研究してみる価値はある。	御意見として伺う。	総務
49	古川	③	2. カメムシ斑点米とコメの検査基準 —問題提起— 6、7年前、市民会館での世界農業遺産シンポジウム。佐々木陽悦氏もパネラーで参加。 ネオニコチノイド系農薬の有害性を盛んに議論していた。私も数年前から、フェイスブックで秋田の方とこの問題をやり取りしている。 そこで問題提起。 1. コメの検査基準は1,000粒中1粒なら1等米、2粒なら2等米。一粒違うだけで2等米に格下げなのは、合理性が無いし厳しすぎる。食管制度時代の遺物である。秋田、岩手では県議会レベルで検査基準の見直しを決議し、青森も農水省のアンケートに検査基準の非合理性を回答している。 農協が機会を見つけて農水省に改善を働きかけるべきである。 2. 行政が補助を出しJAと組んで、病害虫対策協議会でネオニコチノイド系の農薬散布を奨励している。うがった見方をすれば、これは農薬メーカーとJAと業者の利益のためにやっているに映る。 行政が中心となり見直し、改善を図るべきである。 3. 上記1、2が早急には対応できないとすれば、経過措置として、1等米、2等米のカメムシ斑点米除去の手数料650円/60kgは農協が内部の経営努力で負担すべき。 色彩選別機の性能も向上しており、カントリー出荷も増え斑点米除去も容易になり、650円/60kgの根拠も薄い。農家に負担させたり、カントリー利用料に上乗せすることの無いように願う。 4. 以前の議会でこの件で、ある議員が一般質問をした。時代の要請は検査基準の見直し、ネオニコ系農薬の削減である。農協が率先して取り組んで欲しい。多面的機能支払い(環境直接支払い)で、色彩選別機の手数料や、農薬散布の全額助成を検討しても良い。 5. 意見書の提出もまた議論してほしい。	御意見として伺い、執行部担当課へ申し伝える。	産業

No.	地域	テーマ	提言内容	回答	所管委員会等
50	古川	③	<p>今般の大雨災害に関するもの 先日(7月15日)の記録的な大雨においては市内でも各地で川の氾濫・決壊等で大きな被害が出ました。とくに県管轄の(旧)大江川も例によって各古川地域で越水、冠水の被害が出ています。この7年で3回目、繰り返される洪水のリスクに関して地域住民は失望と諦めの感情が交錯している状況です。 ところで、今回の大江川流域の浸水・冠水被害の状況は実地調査・データ管理はされているのでしょうか。また今後に向けて県・国に対して改修・排水機施設強化等強く要望する見通しはありますか？ 数年後完工する東バイパスの堤防効果によるさらなる増水も懸念するところです。 住民は喫緊の課題と認識していますが、行政サイドのスタンスをお伺いします。</p>	<p>【担当課確認】 大江川流域の浸水被害や冠水被害に関しては、罹災証明等の申請状況やパトロールにより概ね把握しており、宮城県に対し、常襲冠水地域となっている大江川について、堆積土砂の撤去等の適正な維持管理を要望している。 また、大雨で甚大な被害を受けたことを踏まえて、多田川流域において、国・県関係自治体等を含めた検討部会が設立され、その中で浸水被害の軽減に繋がる具体策の検討及び、国道108号と大江川の横断部については、国土交通省・宮城県と協議を行っており、大江川の計画断面で整備すると予定である。</p>	建設
51	古川	①	<p>～御礼～ 国の事業復活支援金を受けた市内の事業者に対し、市においても追加給付なされ、即日申請(7月22日)。期待をかけるごく僅かな予約も第7波でキャンセルある中、この(個人)10万円をとりあえず冷蔵庫リース料、ガス代に充てる算段、安堵感に少し助けられた。 正直、だいぶ以前より持久戦。貴重な財源の使途を受けた身として、サービスを中心部で営む者として、来たる8月も踏ん張る想いを持つべきところ、さすがに8月もキャンセル入り、気力をなくしている状態(7月26日)。 ～意見～ 地域経済の活性化を狙い発行される割増商品券、今年度は2・3月の審議の結果、電子版「パタPay」となった。 非接触での支払い、スマホの普及が決定力となりこの形となったのか、疑問もある。 特にその取扱店だが、イオンやヤマダ電機など大手の店舗も対象として多い点について、必ずしも地域にお金が廻るとも言い難く、趣旨が違ってくるのではないかとの声も以前より上がっていた。更にそこへ今年度は、共通券・専用券の区別が無くなったことにより、全額最大35,000円分を大手で使用することが十分可能なため、そうした懸念が線引きし難いこと重々承知だが、本来の目的を見つめ、次年度検討を願う。</p>	<p>【担当課確認】 一次販売は、60代以上が全体の26.6%で、90代の申込もあった。馴染めない方へのスマートフォン勉強会も今後検討材料と考えている。 紙の商品券で実施した際には見えてこなかった利用者の年代や利用店舗、利用時間等が電子商品券にすることでデータ化ができ、今後の様々な事業に活用できると感じている。 現在パタPAY運用中のため、データがまとまりましたら、来年度以降に活用に向けて検討していく。</p>	産業
52	古川	②	<p>～個人の報告ならびに市の事業として取り組んでほしいこと～ 現在、市内幼稚園、児童館などの要請で、未就学児へプライベートゾーンの話をする講師として、無償活動している。(「女性人材リスト」登録の依頼を受けメンバーとなったり、男女共同参画推進室の協力を頂き、庁内推進委員会の会議の場へも招かれたりしたが、現段階では、まだ個人の取り組み。他の部署でも熱意ある職員の方々の力により、広まる兆し。) 目的は、深刻な性被害、加害をなくすよう、自分も周りも大事にする知識を身に付け、年齢、性別関わらず全ての住民の認識で安心な地域を創るため。まだ、浅い活動ではあるが、幸い理解ある園長・館長らとも接触でき、足を運ぶ都度「(子供への教育は)外部の人の力が必要。」「来年も。ぜひ毎年来て下さい。」との願ってもない言葉を戴いた。 やはり、もちろん職員、先生、人それぞれ温度差はあるが、伝える必要があるべきことであるため、「中学校デートDV予防学習会」同様に、低年齢の子供へのいち早く市の事業として取り組み啓発を強めてほしい。 アクションプランでは、小学校への指導も進めるとあるが、幼少時の性被害も市内で現実には起きているので、幼稚園、保育園の未就学児まで年齢を下げ、待ったなしで行うことが望まれる。 少しでも早い実施に向け、皆さんからも理解と後押し賜うようお願いしたい。 「ハッピー おおさき(写真の掛け声)」</p>	御意見として伺う。	総務
53	古川	③	<p>～市民の代表に対し期待を込めて～ ・改選後の定例会での一般質問を録画で大方視聴し(今回、全日程傍聴叶わなかった)、複数の議員から度々出た「本当の支援」という言葉が非常に残り考えさせられ、市政、市議会のキーワードと感じた。 人間、話す言葉にその人となりが出るのであれば、多くのベテラン議員からしっかりとこの言葉聞けてことは頼もしく、励まされる想いであった。 どうにもならないことばかりだが、それでも先ず自助に(市民としても)努めて参りたい。 ●国会内に書店を構える店主の話によると、いま国会議員でも本を読まない人間が現実いるという。 ネット社会の弊害か、何でもかんでも情報収集がデジタルな為に、近年は「考えが違ふ」というのではなく「ズレていて本質が違ふ」人が存在すると思う。 自分の都合でしか考えられないのは、非常に怖いことだ。 皆さんは政治家として、紙の本、雑誌、新聞も無論お腹を切って人一倍に、日夜、沢山、目を通されていると存じますが、どうかこの先も柔軟な市議会であるよう、若手議員の方々も終始バランス感を持って、公務に努められてほしい。 今年度、どこも時間取れず、報告会へ残念なことに参加できなかった。 いくつもの会場を廻ってみたいくらい、参加したかった。 店として研究を続けジビエも共に走りたい。</p>	御意見として伺う。	—

令和4年 議会報告・意見交換会（団体との開催）

【質問・意見・要望の要旨，回答の要旨】

凡例
 テーマ：アフターコロナにおける
 ・地域経済回復及び活性化策
 ・子育て支援策（宮城県において合計特殊出生率1.15）～議会に期待すること～
 ・その他
 所管委員会等：議運…議会運営委員会
 総務…総務常任委員会
 民生…民生常任委員会
 産業…産業常任委員会
 建設…建設常任委員会
 情報化…情報化対策特別委員会
 コロナ…新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会
 会派…会派代表者

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果，対応状況 など	所管委員会等
1	大崎市医師会	以前，鳴子地域でケアカフェを開催したが，非常に遠く，交通の便が悪いと感じた。高速道路とは言わないまでも道路整備の計画は無いのか。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	建設
2	大崎市医師会	（議員からの質問）在宅医療を行うに当たって，主治医との協力制度は大変良いと思うが，実績は。	（医師会からの回答）ここ1～2年はコロナの影響で1～2件だが，以前は7～8件ぐらいあった。		—
3	大崎市医師会	（議員からの質問）鳴子地域などで民間の医療機関が対応するのは，なかなか困難と考えるが，公的機関に期待するところはあるか。	（医師会からの回答）比較的，古川，三本木地域は充足している。岩出山・鳴子地域は，医師も高齢化しており公立病院に期待するところである。今後はオンライン診療も考慮する必要もあると感じている。		—
4	大崎市医師会	（議員からの質問）ケアカフェの開催回数を増やしてはどうか。また，開催に当たり大崎市で支援できることはないか。	（医師会からの回答）現在は2か月1回のペースで開催しているが，そのペースでも大変な状況である。支援は特に必要ない。		—
5	ろうあ福祉会	障がい者コミュニケーション条例が3年前に制定されたが，現状としては取り組み道半ばの印象がある。	ご意見として伺う。議会としても，条例制定後，議会運営委員会が中心となり，手話についての勉強会を行ったが，その後，新型コロナウイルス感染症の影響もあり施策の推進に取り組めていないのが現状であった。	令和元年6月に「大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」を制定したが，コロナ禍ということもあり，積極的に取り組めていない状況にあった。条例に制定されている「手話は言語である」ということの普及啓発に努めていきたい。	民生
6	ろうあ福祉会	市役所では職員がマスクのままに対応するため，表情がわからず戸惑うことが多い。手続きをするときも，手話ができる職員がいないので不安がある。窓口での手話通訳の必要性を感じている。	ご意見として伺う。	窓口での手話通訳の必要性は感じているが，すぐに対応することができないため，手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業を利用していただきたい。	民生
7	ろうあ福祉会	市のイベントに手話通訳がついたことがないのは，残念である。成人者の中に聾啞者がいるのに関係なく，手話の存在を知ってもらうために，成人式で手話通訳をつけてほしい。福祉祭，選挙などの話も聞きたいが，手話通訳がない。	ご意見として伺う。	ご意見として伺う。イベント等でも手話通訳が普及できるよう提言していきたい。	民生
8	ろうあ福祉会	手話通訳を依頼する場合，市役所には1か月前に申し込まないといけない。突然の事故や，緊急時のために手話通訳をお願いできる環境を整えてほしい。	ご意見として伺う。	手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業を実施している。利用を希望する日の10日前までに申請書を提出していただくことになっている。緊急時のための手話通訳に関しても，必要性は認識しているため，提言していきたい。	民生

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等
9	ろうあ 福祉会	手話通訳者が足りない。通訳の実力に差があるため、継続的な養成をして欲しい。多くの人に勉強して欲しい。養成講座に通うための選考試験があるが、試験に通らないと養成講座に通うこともできない。手話通訳者の試験が難しい。試験に合格できるくらいのレベルまで市のサポートを要望する。試験合格のためにフォローアップ講座を開いて欲しい。	ご意見として伺う。	本市では3つの団体が手話サークルとして活動している。今後、手話通訳者充実の施策についても重要性を認識しているため、提言をしていきたい。	民生
10	ろうあ 福祉会	手話言語を広めるため、理解を地域に広げ、全ての人に聾啞者が安心安全な生活を送るためにご理解をお願いしたい。聾啞者の外見は健常者と変わらないため、聞こえないとわかるまで誤解がある。聞こえない人もいることを理解して欲しい。日本語でのコミュニケーションができない人がいる。健常者と同じ土俵に立てるように手話を広めてほしい。	ご意見として伺う。	令和元年6月に「大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」を制定したが、コロナ禍ということもあり、積極的に取り組めていない状況にあった。条例に制定されている「手話は言語である」ということの普及啓発に努めていきたい。	民生
11	ろうあ 福祉会	条例制定後の活用内容や活動状況が見えない。塩釜市では2年前、名取市では今年の2月に制定された。県の手話条例は内容が少し違う。聾啞者の理解が広がるような条例を作ってほしい。大崎市の条例は障がい者全員を対象にしたコミュニケーション条例だが、聾啞者に特化した条例を制定してほしい。暮らしの中でコミュニケーションとしての手話を育てる、手話で会話ができる場を設けることを条例に反映してほしい。	ご意見として伺う。	令和元年6月に「大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」を制定した。本市では、聾啞者の団体の方々とも意見交換などを行いながら、障がいのある方全般を対象とした条例にした。条例に制定されている「手話は言語である」ということの普及啓発に努めていきたい。	民生
12	ろうあ 福祉会	名取市の小学生が手話講座を受けているニュースを見た。学芸会もコロナのため、声を出さずに手話で発表しているところもあって感動した。小さい頃から親子で興味を持つために、活動することはいいことだと感じた。仙台市では若い人たちが手話パフォーマンスをしている方々もいる。私は保育園で働いている頃、耳が聞こえない保護者がいたことがきっかけで手話を始めた。今の若い保護者も何かきっかけがあれば興味を持ってくれると思う。出前講座でもいいので市で取り組んでほしい。	手話は言語であるという認識を広く普及していくことは非常に重要な視点である。ご意見を参考にさせていただく。	市民の自発的な生涯学習を支援するため、地域のボランティア指導者および指導者団体を構成する「生涯学習人材バンク」事業を行っている。その中で、手話についての活動もしている。若い保護者の方や、子どもたちにも興味を持っていただけるような取組を調査・研究していきたい。	民生
13	ろうあ 福祉会	聾啞者の見た目は健常者と同じため、若葉マークやマタニティマークのように、一目でわかるマークがあれば良いと思う。	ご意見として伺う。	聴覚障がい者のマークとして、耳マークがあるが、あまり広く周知されていないと感じている。耳の不自由な人は外見では分からないため、誤解を受けたりすることもあると思う。耳マークを知らない方も多いと思うため、周知に努めていきたい。	民生

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管委員会等
14	ろうあ福祉会	先日、大雨があり、稲葉で生活しているが、家の前まで水が迫ってきていた。ホームページを見たが、どこに避難したら良いかわからなかった。福祉避難所に聾啞者が行っているのか。民生委員の顔もわからないため、安否確認も聾啞者と行政はできていない。	ご意見として伺う。福祉避難所については、重要な視点である。民生委員、行政区長との連携も必要と考える。	先日の大雨の際には、市ウェブサイトには避難所情報を掲載したが、情報を見つけにくいなど、市ウェブサイトの構造的な問題も含めて検討する必要があると考えている。 高齢者、障がい者等の要配慮者を適切に避難誘導し、安否確認を行うために、民生委員・児童委員や地域住民等の協力を得ながら、要配慮者の了解を得た上で、平常時より要配慮者に関する情報の把握及び関係者との共有に努めていきたい。	民生
15	ろうあ福祉会	スマホを持っていない方で聾啞者であった場合、コロナのワクチン接種をどのように予約したら良いか。聞こえないから電話もできない。予約ができず、接種会場に直接行った人もいる。	貴重なご意見として受け止める。今後、聞こえない方へも対応できるように、その視点は大切にしていきたい。	ご意見として伺い、接種促進につながる施策を展開できるよう提言していきたい。	民生
16	古川商工会議所女性会	感染症対策をはじめとした行動制限等により経済が停滞している。地域の事業所、店舗の魅力は消費者にもっと知ってもらい街に人が増える仕掛けが必要だと思うのですがどうお考えか。	街の賑わい創出におけるきっかけ作りは必要。商店街空き店舗対策等の補助金がうまく活用できないか模索する。	調査、研究し、対策等を検討していく。また、執行部担当課へ申し伝える。	産業
17	古川商工会議所女性会	感染症対策も備えたキッチンカーなどが有効と考える。出店が増えると人出も多くなるはずなので組合への要請も視野にイベントを仕掛けてほしいのだがどうか	今年になってから街でのお祭りやイベントもどうすればできるようになるか対策しながらの開催傾向になっている。地域活力再生イベント支援事業等を有効に活用してほしい。	【対応状況】 感染対策を講じながらのイベント開催が行われてきている。 ふるかわ秋まつりが交流センターあすもで開催され、多くの来場者で賑わった。	産業
18	古川商工会議所女性会	大崎市の玄関口でもある駅の有効活用について何か手段はないものか？例えば地区ごとや高校生なども巻き込み、空きスペースで出店を順繰りに展開する方法など実現できないだろうか。	JRの敷地である以上大崎市の思惑が100%とは行かないが、それはとてもいいアイデア。既存の支援事業の解釈がどのように適用できるか検討したい。	ビボットの跡地利用については、JR東日本東北北部と市等の関係機関による長期的な利活用に係る検討会を開催し、協議を重ねている。	産業
19	古川商工会議所女性会	社会のデジタル化が進んでいることはとても実感する。オフィシャルサイトに地域の店舗、逸品を紹介してほしい。	SNS戦略等自治体が積極的に発信するよう提言をしています。時代に即した情報発信をすべきだと考えるため、可能かどうか確認したい。	【担当課確認】 商工団体のホームページにて発信している事例もあることから、情報発信について、商工団体等と協議を進めていきたい。	産業
20	古川商工会議所女性会	世界農業遺産認定を受けて地域の魅力を世界や全国に発信してほしい。	台湾からの地域おこし協力隊の採用もあり、積極的な情報発信を実施したい。	【対応状況】 世界農業遺産国内認定地域連携会議（J-GIAHS会議）などを通して、他の認定地域等と連携しながら情報発信を行っているほか、SNSの活用や首都圏等でのイベントに積極的に参加するなど地域の魅力の発信に努めている。	産業
21	古川商工会議所女性会	東北大学フィールドセンターとの連携は図れないだろうか。	委員会での視察対象としてコミュニケーションを図りたい。	【産業常任委員会で現地調査を実施】 東北大学川渡フィールドセンターの現状について現地調査をし、いただいた情報提供や要望、意見交換の成果を、今後の政策審議等に生かしていく。	産業
22	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	新型コロナウイルスの感染流行対策を検討するにあたり、大崎市からの情報提供が足りない印象である。提供情報の充実を図れないか。	大崎市として提供する情報は、宮城県と保健所から提供されている。情報の充実には県にも要請していきたい。	宮城県では9月3日から全数把握を見直したことにより、市町村ごとの感染者数は公表されなくなった。	コロナ
23	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	新型コロナウイルス蔓延に伴い実施されたグループ支援事業補助金には大変助かった。今後は消費喚起策の充実をお願いしたい。	非常に大事な問題と認識している。コロナ対策と両立しながら検討を進めて参りたい。	【対応状況】 今年度は、商品券等発行グループ支援事業を実施しており、11月24日現在20件464事業者に活用いただいている。	産業

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管委員会等
24	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	今秋からのプレミアム電子商品券は、そもそも利用して頂けるのか、利用はスーパーが中心となり商店街には効果は降りてこないのでは、という心配がある。市議会としてどのように捉えているか。	ご指摘の心配はあることは認識している。その上でこの事業を「一旦取り組んでみる」ことが大事と捉えている。またビッグデータの集約や若い消費者層のニーズの惹起につながればと考えている。	会場での回答のとおり。	産業
25	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	第7派到来に伴い、事業者に対しても新たな補助制度の検討をお願いしたい	コロナ対策と両立しながら検討を進めて参りたい	【担当課確認】 今年度は、中小企業等事業復活支援給付金や中小企業等原油価格高騰緊急経済対策支援金等の事業を展開した。今後についても、国や県の動向を注視しながら、適切な対応を講じていきたい。	産業
26	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	古川駅前大通二丁目にあった歩道橋付近の工事はいつ完了となるのか。	管轄外の分野であるが、現状完了予定は未定との認識	【担当課確認】 令和6年度より、工事着工の予定で進めておりますが、工事完了時期は現時点で未定です。	建設
27	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	大崎市としての企業誘致にはどのように取り組んでいるのか。	例えば三本木にある工業団地等が誘致対象エリアとして検討されるが、平坦地で浸水リスクもあり検討が難しいことが現状。大崎市宛に企業誘致の声はいくつか頂いているものの、現状では大きな進捗はみられないことが実情。	【担当課確認】 三本木スマートインターチェンジ東部工業団地をはじめ、市内の候補地を企業に提案しているが、なかなか誘致に結び付いていない状況である。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、企業側の意向もあり、ここ2年半は積極的な企業訪問はできていないが、コロナの感染状況を見ながら企業誘致活動を再開していきたい。	産業
28	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	高齢化に伴う免許返納を行った場合の交通の便を補助する為に、タクシー券の配布を実施してはどうか。	御意見として伺う。	御意見として伺い、執行部へ提言していく。引き続き、所管常任委員会でも調査をしていく。	総務
29	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	アフターコロナを見据えて、インバウンドの拡大のためにどのような施策を検討しているか。	コロナ禍前で、海外からのインバウンドで最も顕著であった国は台湾である。関係各所と連携しながら、台湾からのインバウンド復活に早急に取り組む。またSNSやふるさと納税の仕組みも活用し、大崎市に関心を持って頂けるキッカケ作りに努める。	【対応状況】 11月4日～11月7日に開催された台北国際旅行博に出展し、大崎市のガイドブックの配布、こけしの絵付け体験、公式SNSの紹介などを実施した。併せて、現地の旅行業者に対するセールスコールを実施した。	産業
30	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	世界農業遺産を観光やビジネスにどう活かすのか。	グリーンツーリズムや収穫体験で市外からの集客に活かせるものだと考えている。またSDGs未来都市認定と合わせて、ひいては企業誘致にも活かせる可能性があるものと捉えている。	【対応状況】 モニターツアーを造成・実施するなど、地域での自走化に向けた取組を推進し、今年度、東京の大学生によるスタディーツアーにつなげ、地元企業・団体等と連携を図り、交流人口の拡大に努めている。	産業
31	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	古川駅の再活用について市議会の考えを伺いたい。	市民の間で非常に関心の高いテーマである。現状のままでもいいとは誰も考えておらず、これからも市とJRとの間で継続的且つ積極的に議論を進める必要がある。	会場での回答のとおり。	産業
32	古川中心市街地5町商店街連絡調整会議	大崎市の入札制度に関して、過当競争である印象を受ける。大崎市内の事業者の保護も考えて頂きたい。	非常に大事な意見であり、執行部に伝えたい。	会場での回答のとおり。	総務
33	J A古川・女性部	資材高騰等への対応について、補助事業等提出書類の簡素化はできないか。	提出書類が難しくならないような配慮が必要と考えるので要望していく。	【担当課確認】 提出書類が難しくならないような配慮が必要と考えるので、関係団体などへ要望していく。	産業

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果、対応状況 など	所管委員会等
34	J A古川 ・女性部	若い人が住むことを決意することのできる条件を整えることはできないか。	若者の定住は課題と捉えている。スローライフやワーケーションといったキーワードをテーマに政策を促していく。	会場での回答のとおり。	総務
35	J A古川 ・女性部	専業農家の経営状況が悪い。稼ぐことのできる農業の模索を市として案はないか	若手人材の育成や担い手不足を解消に導ける政策を促していく。	【担当課確認】 燃料、生産資材等への投資を抑える取り組みや、農作物の品質向上や需要に即した生産により、農家所得の向上に繋がる取り組みを積極的に支援していく。	産業
36	J A古川 ・女性部	小学校の跡地利用について活用策はあるのか	住民の意見を最優先とし、持続可能な施設や機能にするために民間事業者とも接点を持ちながら協働する形を進めたい。	市では政策課に「小学校跡地利用調整担当」を設置し、地域の考えを軸に庁内関係各課の調整を図りながら、地域振興や地域活動力向上に資する活用案策定に取り組んでいる。議会もこの方針を踏まえて執行部と議論を重ねている。 なお、岩出山地域の旧真山小学校をジビエ処理加工等施設及び減容化処理施設として整備する計画が進んでいる。	総務
37	J A古川 ・女性部	古川北小学校のコロナ対策やトイレの衛生管理など他の小学校と比べてスクールサポーターに差がないか	コロナ対策予算が財源のため、人数による優先性があることは前提だが、十分な対応ではないことを総務常任委員会へ報告する。	【教育委員会確認】 スクールサポートスタッフ配置事業を開始した令和2年度当時とは異なり、国からは、通常の清掃活動の中にポイントを絞って消毒の効果を取り入れ、清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童生徒等の抵抗力を高め、手洗いを徹底することの方が重要であること、かつ過度な消毒とならないようにすることが示されており、今年度は、400名を超える児童生徒数である9校に配置している。 所管委員会では、引き続き調査を行っていくが、学校ごとに対応の差がないよう、スクールサポートスタッフの配置、加配の必要性を提言していく。	総務 コロナ
38	J A古川 ・女性部	グリーンツーリズムの受け入れに参加したが皆で集まって交流する機会が不足していると感じたが必要ではないか。	全体研修の大切さは認識している。観光交流課や世界農業遺産担当へ報告する。	【対応状況】 グリーン・ツーリズムの体験を含めた研修会や視察研修などを実施し、市内団体の交流を図っているほか、他地域との交流も推進している。	産業
39	J A古川 ・女性部	地域で農業経営が逼迫している。包括して改善できないか	米の品種等を改良するなど工夫を。転作事業の可能性などもご家庭で検討してもらいたい。市とJ Aではスムーズな転作移行へのサポートをしている。	【担当課確認】 燃料、生産資材等への投資を抑える取り組みや、農作物の品質向上や需要に即した生産により、農家所得の向上に繋がる取り組みを積極的に支援していく。	産業
40	J A古川 ・女性部	高倉地区のスクールバスの利便向上を図ってもらいたい。	御意見として伺う。	御意見として伺い、執行部へ提言していく。	総務
41	J A古川 ・女性部	農業の後継者の斡旋は市で対応してくれているのか？業界の高齢化を懸念している。	担い手不足の対応に策を講じている。稼ぐことのできる農業形態を地域で模索したい。	担い手不足に関し、市は新規就農者の確保と育成を重点課題として各種支援を講じております。 今後、地域の方々と市や関係機関との話し合いにより、担い手の確保や農地の集約による効率化など総合的に支援していく。	産業
42	J A古川 ・女性部	師山球場の手入れがなされていないが対応はあるのか。	行政区へ日常の管理は依頼してあるが、担当課へ伝える。	担当課に適切な管理を要請する。	建設

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等																
43	J A古川 ・女性部	市道の痛みや道路整備に不満があるがどこに言えばいいのか。	そのような道路があれば建設課に電話してほしい。それでも改善されない場合は最寄りの議員へ相談を。可能であれば本日配布の記入用紙に具体的に書いて頂きたい。	会場での回答のとおり。	建設																
44	J A古川 ・女性部	三本木パークゴルフ場の早期完成を願っているがいつか。	少しでも全面プレーできるよう促していく。	【担当課確認】 三本木パークゴルフ場については、4月からコース改善に向けた工事を実施していましたが、7月15日の記録的な大雨により、三本木パークゴルフ場及び隣接する新世紀公園が被災したことを受け、工期を延期している。一部完成したひまわり、なのはなコースについては指定管理者へ引き渡し完了しており、来年春より利用可能となる。 残るすいせんコースについても、早期完成を目指し、来年度内のコース引き渡しに向け、関係者と協力して工事を進めていく。	建設																
45	大崎建設 職組合	建築設計及び工事監理の発注は地元企業の育成強化のため地元建築設計事務所へ優先的発注を願う。	要望として伺う。	【担当課確認】 地域活動、災害活動の観点からも地元業者の存在は大きいことから、地元企業の育成に向け、引き続き地元企業の受注確保に努める。	総務 建設																
46	大崎建設 職組合	最低制限価格の設定があるが現行の70%から80%を85%に見直しを願う。	要望として伺う。	執行部へ申し伝える。	総務																
47	大崎建設 職組合	建築設計及び工事監理の業務報酬算定にあたっては、国土交通省告示第98号「建築士法第25条の規定に基づき建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することが出来る報酬の基準を定める」によって行われるよう要望する。	要望として伺う。	【担当課確認】 建築設計及び工事監理の業務報酬算定にあたっては、国土交通省告示第98号及び建築士法第25条の規定に基づいて積算している。 なお、告示等で積算できない改修工事等の設計にあたっては、複数社から見積りを徴収している。	建設																
48	大崎建設 職組合	建築設計及び工事監理の履行期間設定にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮するとともに週40時間労働に対応したゆとりある業務期間の配慮を要望する。	要望として伺う。	【担当課確認】 業務期間中に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が確認された場合は、必要に応じて、国からの通知などに基づき履行期間の延長等を検討していく。 また、週40時間労働への対応は、国、県及び近隣自治体の動向を確認しながら検討していく。	建設																
49	大崎建設 職組合	大崎市の小規模工事は何件くらい発注があり、どのような職種が多いのか、以前登録したが何もなく左官工事の小規模発注はあるのか。	現状を把握したい。	【担当課確認】 小規模工事は、設計価格50万円以下を対象としている。 件数は、 令和元年度 19件、 令和2年度 22件、 令和3年度 7件 となっており、 職種については、 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築</th> <th>設備</th> <th>土木</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 小規模工事や修繕工事等については、緊急性を要する場合などに適用されることが多く、計画的な執行予定の案件が少ない傾向にある。		建築	設備	土木	令和元年度	13	4	2	令和2年度	13	7	2	令和3年度	4	3	0	総務 建設
	建築	設備	土木																		
令和元年度	13	4	2																		
令和2年度	13	7	2																		
令和3年度	4	3	0																		
50	大崎建設 職組合	改修工事や修繕工事の分離発注はできないか。	要望として伺う。	【担当課確認】 建築関連の改修工事は、原則として「建築・電気・機械」等は分離発注で執行している。	建設																

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管委員会等
51	大崎建設職組合	役所に提出する書類の簡素化はできないか。	要望として伺う。	令和4年3月に策定した「大崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」では、デジタル技術を活用し、行政手続等の利便性向上や行政運営の簡素化・効率化を図ることとしていることから、計画に基づき行政サービスの手続の簡素化等が検討されていくと理解している。 引き続き所管委員会でも調査をしていく。	総務
52	大崎建設職組合	市が発注する工事には市内の業者(専門職)を入れてほしい。	要望として伺う。	【担当課確認】 地域活動、災害活動の観点からも地元業者の存在は大きいことから、地元企業の育成に向け、引き続き地元企業の受注確保に努める。	総務
53	大崎建設職組合	畳工は約1,300年前より受け継がれている伝統ある業種であるが工事の業種の中では「雑工事」の扱いになっており「畳工事」という名称にしてほしい。	現状を把握したい。	執行部へ申し伝える。	総務
54	大崎建設職組合	近年少子化により小・中学校に空き教室が目立つと言われております。他県では、空き教室に畳を敷き授業を行っているところもあります。自宅に畳のない子供たちも少なくとも日本の文化でもある畳に触れられるような場所を検討できないか。	市内小中学校の現状を調査するとともに大事な提案と受け止め検討していきたい	会場での回答のとおり。	総務
55	大崎建設職組合	コロナ禍の全ての個人事業主は厳しい経営状況にあるので、これまで以上の支援要望する。	これからもしっかりと対応していきたい。	ご意見として伺い、執行部担当課へ申し伝える。	産業
56	大崎建設職組合	小規模の修繕工事が近年少なくなっているのが増やしてほしい。	要望として伺う。	【担当課確認】 小規模工事や修繕工事等については、緊急性を要する場合などの執行の際に適用されることが多く、計画的な執行ができないものであるが、事前に把握できる案件については、しっかりと予算を確保し対応するよう努めていく。	建設
57	大崎建設職組合	小学校の遊具等塗装のボランティアを行っているが担当の窓口を一本化、簡略化できないか。	現状を調査し対応したい。	御意見として伺い、執行部へ提言していく。	総務
58	大崎建設職組合	若者の定住促進のため、企業や学校(大学や専門学校)を誘致しては。	これまでもこうした動きがあったが実現していない。引き続きの課題と受け止める。	大学等の教育機関の誘致ではないが、宮城県が日本語学校の開設を目指していることから、本市は県と連携し、交流人口の増加、地域活性化、産業振興等を目的に、10月に日本語学校推進室を新設し、誘致活動に動き出したところである。	総務
59	大崎建設職組合	空き家を市で募集、地元業者が修繕、格安で貸し出す等、市が主体となって行ってはどうか。	大崎市空き家バンク制度やおおさき移住支援センターくーらすの活動を通じる等事業を進めているが、なお一層の推進を図る必要がある	御意見として伺い、引き続き、所管常任委員会でも調査をしていく。	総務
60	大崎建設職組合	自由度の高いリフォーム助成金を復活してほしい。	大崎市でもリフォーム支援事業を実施しているが、三世帯居住や移住支援、高齢者支援が中心となっている。要望として伺っておきたい	【担当課確認】 現在、自由度の高い…という趣旨でのリフォーム助成は行っておらず、高齢者を対象とした住宅改修や、若者世帯の移住定住の促進など、特定の目的を持ってリフォーム助成を行っている。	建設

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等
61	宮城県建設業協会 大崎支部	抗原検査キットなどのサポートをしていただきたい。	P C R検査は、木下グループの無料など市内10か所あるので活用してほしい。	期間は未定だが、宮城県では無料検査を実施しており、大崎市内でも古川駅前や多くの薬局で実施している。また、宮城県では自宅等で速やかに検査ができるよう、医薬品として承認を受けた抗原定性検査キットを配布している。	民生
62	宮城県建設業協会 大崎支部	建設業界、担い手・人で不足がある。資材が様々な状況で入ってこないで工期を守れないこともある。柔軟に対応してほしい。	執行部に伝え、検討していただく。	【担当課確認】 資材、人材の確保は、建設業において重要と認識しております。適正な工事執行並びに工期設定に努めます。	建設
63	宮城県建設業協会 大崎支部	物の値段が高騰で高騰しているの、月ごとに調査し、救済してほしい。	執行部に伝え、検討していただく。	【担当課確認】 資材設計単価については、県で定める地域別資材、県統一資材の単価を採用しており、市場価格の変動により変更があった場合は、単価決定管理基準により改定される。それらに掲載の無い単価については、積算時の最新月の単価を採用している。さらに、そうした資料にも無い単価については、業者より見積徴収し単価採用しています。なお、工事期間中に資材等の価格が急激に上昇した場合には、契約に基づくスライド条項の適用が可能となっております。	建設
64	宮城県建設業協会 大崎支部	働き方改革で就業時間も制限されており、残業は難しい。待遇の改善も含めて産業の育成をお願いしたい。	執行部に伝え、検討していただく。	ご意見として伺い、執行部担当課へ申し伝える。	産業
65	宮城県建設業協会 大崎支部	3月いっばいの工期では厳しく、協議をすることが多い。働き方改革もあり、発注時期を早めて適正な工期にしていただきたい。	執行部に伝え、検討していただく。	【担当課確認】 働き方改革関連法の月45時間、年360時間を原則とする時間外労働の上限規制が建設業にも令和6年4月より適用されますが、工事発注者として本市でも、国、県の動向を注視しながら、働き方改革を踏まえた適正な工期の設定を行い、長時間労働を防ぎながら、ワーク・ライフ・バランスの実現へ努めてまいります。	建設
66	宮城県建設業協会 大崎支部	母子家庭の方がコロナの影響で生活困窮になった場合の支援策は。	様々な理由により、生活に困りごとを抱えている方、働いている中で悩みを抱えている方などの悩みを聞き、今後のプランをご本人と一緒に考えサポートを行う窓口がある。気軽にご相談いただきたい。	会場での回答のとおり。	民生
67	宮城県建設業協会 大崎支部	コロナ対策の雇用調整助成金の継続をお願いしたい。	コロナ対策交付金は新たなものが示された。地方創生臨時交付金は、コロナ幹事会で要望していきたい。	ご意見として伺い、執行部担当課へ申し伝える。	産業
68	宮城県建設業協会 大崎支部	発注するときは現場の状況を共有してほしい。発注前に必要な協議をして、すぐに工事に入れるようにしてほしい。	執行部に伝え、検討していただく。	【担当課確認】 発注前には関係機関等との協議は終了させ速やかに現場着手できるよう努めていく。 しかしながら、請負者が決定しなければ進められない協議内容もあるため、その際はご協力を願う。	建設
69	宮城県建設業協会 大崎支部	子育て支援としての市営住宅の整備は地元定着につながるように、鳴子温泉地域の市営住宅はすぐいっばいになっている。	上鳴子住宅と坂の上住宅の二つの住宅を統合して鳴子温泉分院の隣に建設した。要望として受け止める。	【担当課確認】 市営住宅は、公営住宅法に基づき住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸するものであり、子育て世帯に限定されたものでない点をご理解願う。	建設
70	宮城県建設業協会 大崎支部	市の発注は秋以降が多い。物価は毎月上昇しているの、単品スライドのなど対応してほしい。	執行部に伝え、検討していただく。	【担当課確認】 「単品スライド」とは、工事請負契約書第25条5項に基づき、特別な要因により工期内に主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動が生じ、請負代金額が不適当となったとき、請負代金の変更を請求できる措置です。該当する場合は契約約款に基づき協議します。	建設

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等
71	宮城県建設業協会 大崎支部	技術者の育成のため, 高等技術専門学校への支援をし, 地元就職へ結び付けてほしい。	執行部に伝え, 検討していただく。	【令和4年第3回定例会市長答弁】 産業人材の育成は極めて重要であり, 若者技能者を養成するための職業訓練の場として, 高等技術専門学校の役割は重要であると認識している。そのため, 企業や地域のニーズを踏まえ, 実践的かつ幅広い職業訓練が行えるよう, 今後とも県と協議していく。	産業
72	古川電気 工事協同 組合	子育て支援にもかかわることだが, 働き方改革の週休2日制に見合った「工期設定」, 「経費設定」をぜひお願いしたいと言ってきたがどうなっているか。	昨年その要望に市担当者が, 国や県が施工工事をしているの, 今後動向に注意すると答えている。それで, どうなったか詰めていきたい。	【担当課確認】 働き方改革関連法の月45時間, 年360時間を原則とする時間外労働の上限規制が建設業にも令和6年4月より適用されますが, 工事発注者として本市でも, 国, 県の動向を注視しながら, 働き方改革を踏まえた適正な工期の設定を行い, 長時間労働を防ぎながら, ワーク・ライフ・バランスの実現へ努めていく。	建設
73	古川電気 工事協同 組合	コロナ感染で7人が休んでいる。濃厚接触者も5日間休ませている。すべて有給休暇扱い。経営面, 工期延長とか, 支援を考えていただけないか。	どういう支援が必要か具体的に出していただきたい。後期については, 事情を話せば延長すると思うが念押ししたい。	【担当課確認】 工事期間中に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が確認された場合は, 国からの通知などに基づき履行期間の延長等を検討していく。	建設
74	古川電気 工事協同 組合	発熱外来は医者が忙しくて, なかなか診てもらえない。スムーズに検査ができるようにならないか。	ご意見として伺う。なお, 市内10か所で無症状者がPCR検査を無料で受けられることになっている。市に広報を申し入れる。	発熱等の症状がある場合は, かかりつけ医又は宮城県受診・相談センターへ相談し, 医療機関の受診となるが, 診療・検査医療機関での検査・受診に集中してしまうため, これを緩和するため, 宮城県では自宅等で速やかに検査ができるよう, 医薬品として承認を受けた抗原定性検査キットを配布している。	民生
75	古川電気 工事協同 組合	家族1人が感染すると同居者は濃厚接触者で買物にも行けない。塩釜市では食料などのセットを届ける支援をやっているそうだが, 大崎市ではできないか。	ご意見として伺う。先日のコロナ特別調査委員会幹事会において, その話は出なかったが, コロナ特別調査委員会で確認したい。	令和4年9月7日付けで感染者及び濃厚接触者の待機期間が短縮された。また, 療養期間中の外出自粛の見直しについては, 症状が軽くなってから24時間経過した人や無症状の人は, 短時間で公共交通機関を使わずマスクを着用することなどを前提に, 食料品の買い出しなど必要最小限の外出を認められている。 なお, 自己検査等で陽性となった方は, 自ら宮城県の陽性者サポートセンターに登録することで, 新型コロナウイルス感染に係る療養の支援を受けることができる仕組みになっている。	民生
76	古川電気 工事協同 組合	資材が高騰しているが。大崎市の工事費積算と予定価格の設置の仕方について参考見積をとるなど「実勢価格」が反映できるように改善してほしい。	物価本だけで予定価格を決めていれば問題だ。参考見積を数社からとるなど実勢価格を反映させるよう, 調査と改善に努めたい。	【担当課確認】 資材設計単価については, 県で定める地域別資材, 県統一資材の単価を採用しており, 市場価格の変動により変更があった場合は, 単価決定管理基準により改定されることになっている。それらに掲載の無い単価については, 積算時の最新月の単価を採用している。さらに, そうした資料にも無い単価については, 業者より見積徴収し単価採用している。 なお, 工事期間中に資材等の価格が急激に上昇した場合には, 契約に基づくスライド条項の適用が可能となっている。	建設
77	古川電気 工事協同 組合	「実勢価格」が反映されていないといくら物価スライド制があるといっても役に立たない仕組みになっている。物価スライド制が実際に役立つようにしていただけないか。	今の物価高騰のような時, 物価スライド制が稼働しないとすれば大問題なので, どうなっているか実態調査をし改善に努めたい。	【担当課確認】 工事期間中のスライド条項の適用にあたっては, 国が示す運用マニュアル等に基づいて進めていく。	建設
78	古川電気 工事協同 組合	大崎市の工事発注の積算単価が公表されていない。それをもとにして1%超えといっても実態に合わないので改善できないか。	大崎市は入札の翌年度に積算資料を公開している。宮城県は, 入札した年度から資料を公開しているの, 開示請求すればよいことになっている。	【担当課確認】 大崎市の積算資料の公表は, 工事完了後の翌年度に行っているが, 宮城県を初め, 県内の市町村においては契約締結後に積極的に開示している点からも, 本市における公表のあり方を検討していく。	総務

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等
79	古川電気 工事協同 組合	入札参加資格のA等級18社, B等級3社は650点を境にして決められているが, 今は混合入札となった。750点を境にすればA等級11社, B等級10社で入札できる。当組合全員一致の要望だが, 長年担当からは「検討」の回答だ。ぜひ, 改善できないか。	Aクラスが18社, Bクラスが3社は大崎市の決め方だろうが, 実績のない業者が大きな仕事を初めてやるには不安がある。同業者の組合が751点でA, Bを分けて入札を望んでいるなら, 拒否する理由はないと思うが, 執行部と詰めてみたい。	御意見として伺い, 執行部へ申し伝える。引き続き, 所管常任委員会でも調査していく。 【担当課確認】 発注工事の規模(金額)により, 受注業者を選定するための等級分けであることから, 現時点では, 競争性の確保の観点での評点変更は考えていない。	総務
80	古川電気 工事協同 組合	電気工事の仕事につく人は殆どが, 古川米倉にある県高等技術専門学校で勉強したものだが, その学校が地元になくなったら人材の確保は難しくなり, 業界の存亡にかかわる問題だ。人材確保ができるように何とかしていただきたい。	県内の高等技術専門学校を一つに統合するということは聞いていたが, どこに決めたいかは聞いていない。いずれ重大な問題だということが分かったので議会にも対応を検討したい。	【令和4年第3回定例会市長答弁】 産業人材の育成は極めて重要であり, 若者技能者を養成するための職業訓練の場として, 高等技術専門学校の役割は重要であると認識している。そのため, 企業や地域のニーズを踏まえ, 実践的かつ幅広い職業訓練が行えるよう, 今後とも県と協議していく。	産業
81	古川電気 工事協同 組合	大崎市の道路のインフラが悪すぎる	しっかり整備するよう, 執行部に伝える。	【担当課確認】 道路の維持管理においては, 道路パトロールを実施し, 穴ぼこ等の補修を実施しており, これに加え, 郵便局からの情報提供を頂くなど, パトロール強化に努めているところである。また, 舗装修繕につきましては, 計画的に修繕していく。	建設
82	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	保護者が周りに相談ができなくて孤立してしまうことが多い。	御意見として伺う。	市では各種相談窓口を開設し対応しているが, それでもなお相談ができずにいる保護者の方もいると認識している。 執行部へ申し伝えるが, 支援窓口の周知とともに相談しやすい雰囲気づくりや, 支援体制の構築を引き続き提言してまいります。	総務
83	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	どのような場所であれ, 子ども達が安心できる場所が必要だと思う。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
84	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	社会全体(特に先生方)の理解が足りない。不登校の子どもを学校に戻そうとする。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
85	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	子ども達を支援するために教育委員会, 先生方, 議員が同じベクトルで勉強する機会が必要だと思う。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
86	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	大崎市からの財政的な支援策が, 6月の議会で承認されてかなり前進したが, まだまだ財政的に厳しい。寄附や補助金頼みの運営なので, 利用料や交通費の保護者負担が大きく課題である。	御意見として伺う。	引き続き, フリースクール運営団体の皆さまと連携させていただきながら, この課題について, 検討してまいります。	総務
87	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	教育委員会とは連携しているが, 福祉や子育て支援等の面から様々な機関と連携し, 子ども達を支える仕組みを構築する事が社会全体の課題。	御意見として伺う。	関連部署との連携については, 重要かつ必要であると考えるので, 執行部に提言していく。	総務
88	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	ケアハウスで, 先生や子ども達の相談をしているが, 対応を誤るということが増えている。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
89	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	今は, 子ども同士ではなく先生との関係悪化で不登校となる例が多く, 通学する学校を変更し, その後は元気に通っている生徒が多い。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等
90	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	月1回親カフェをやっているが、悩んでいる母親が多く、カフェで話すだけで気分が楽になって頂けるケースが多い。今後は、市内でもやっていきたい。	御意見として伺う。	日頃の団体の活動に敬意を表します。取組について、執行部と共有させていただく。	総務
91	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	以前の50-80問題が、今は60-90問題と言われている。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
92	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	誰かの役に立つと思える場所と、関係性を構築することが必要。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
93	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	不登校特例校が、公立では富谷市と白石市(4月スタート)で始まった。また、仙台市では、私立の特例校が出来る。大崎市でも特例校を作りたい。	御意見として伺う。	2022年10月に富谷市の不登校特例校富谷中学校西成田教室の取組について視察をしたところであり、先進地の取組も参考に、本市の不登校施策について提言等を行っていく。	総務
94	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	けやき教室は、2,300万円の予算が付いているが一桁の生徒しか来ていない。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
95	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	川崎市子ども夢パークという公設民営の施設が成功している。	情報提供として伺う。	成功事例について、執行部と共有させていただく。	総務
96	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	親の会やお茶を飲む会等、個人でもやっても限界があるので、大崎市と一緒にできたらと願っている。	同様の要望を聞いているので、行政に対し実施に向けた提案をするよう検討する。	会場での回答のとおり。	総務
97	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	子ども達は、周りとの関係や環境を整備してあげれば、勝手に確実に成長していく。むしろ親御さんの方が問題です。その場所を作っていただきたい。	御意見として伺う。	執行部へ申し伝える。	総務
98	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	家庭が明るくなるのが大事で、配偶者(特に夫)の協力が必要である。子ども達の居場所と同時に、親御さん(特に母親)の居場所が必要である。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
99	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	大崎市には、こういう学校、こういう場所ができたよ、と言える提案をして欲しい。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
100	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	富谷市では特例校ができたが、登校できない子ども達が出てきている。	御意見として伺う。	10月に富谷市の不登校特例校富谷中学校西成田教室の取組について視察をし御指摘の現状についても、確認してきた。引き続き、先進地の取組も参考に、本市の不登校施策について提言等を行っていく。	総務
101	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	教育関係者が考えている今の学校は、新しい学校になっていないのではないか。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
102	多様な学 びを共に つくる・ みやぎ ネット ワーク	大崎市が先進事例として、全国からそのような子ども達を抱えた家族が移住してくるような自治体となって欲しい。	御意見として伺う。	不登校施策については、所管委員会でも引き続き、調査、検討を行い、執行部に提言していく。	総務

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等
103	多様な学びを共に つくる・みやぎ ネットワーク	特例校を中心にした町づくりを考えた町は、日本に一つもない。大崎市の豊かな環境を利用し、新たな拠点を作れば、子ども達だけではなく高齢者にも住みやすい町になると思う。	御意見として伺う。	10月は富谷市の不登校特例校富谷中学校西成田教室の取組について視察をと ころであり、先進地の取組も参考に、 本市の不登校施策について提言等を行 って行く。	総務
104	多様な学びを共に つくる・みやぎ ネットワーク	保育士等は、お母さん達の愚痴を聞くのも仕事で、そのことによってよい関係が築け、安心感を持っていただける。一方、小学校の教員は、保護者への配慮が足りないと感じる。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
105	家庭教育 支援チー ム	家庭教育支援や、子育て支援という行政の縦割りで担当を分けずに連携して欲しい。	御意見として伺う。	庁内連携の在り方については、提言してまいりたい。	総務
106	家庭教育 支援チー ム	地道に、日頃の生活に寄り添うことが大事。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
107	家庭教育 支援チー ム	子育てに不安を持つ親が多くなってきた。学校や家庭に不満を持つ子ども達も多くなってきた。	情報提供として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
108	家庭教育 支援チー ム	3世代同居でも、お爺さん、お婆さんも仕事をしている家庭が増えている。	情報提供として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
109	家庭教育 支援チー ム	図書館から、団体に対し家庭教育関連のイベントの依頼がかからない。	図書館へ申し伝える。	会場での回答のとおり。	総務
110	家庭教育 支援チー ム	女川町は、6か月、1歳半、3歳児から読み聞かせをしている。	情報提供として伺う。	執行部へ申し伝える。	総務
111	家庭教育 支援チー ム	パソコン等のIT機器に慣れてしまったためか、字が書けない、本がめくれない子が多い。	情報提供として伺う。	執行部へ申し伝える。	総務
112	家庭教育 支援チー ム	親が忙しく、イベント等に来れないのが問題。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
113	家庭教育 支援チー ム	秋田県の事例を検証し、家庭教育をもう一度考え直す時期ではないか。	御意見として伺う。	引き続き、所管常任委員会でも調査をしていく。	総務
114	家庭教育 支援チー ム	団体としては、少なくとも3年に1回は、市内の全部の学校を回りたいと考えている。	情報提供として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
115	家庭教育 支援チー ム	(議員からの質問) メンバーを集める工夫をどうしているのか。	(家庭教育支援チームからの回答) 守秘義務や聞くスキルの問題があるので、ただ集めればよいという問題ではない。	会場での回答のとおり。	総務
116	家庭教育 支援チー ム	大崎市は課を飛び越えるのが難しいと感じている。	御意見として伺う。	御意見を執行部へ申し伝える。 庁内連携の在り方についても提言して いく。	総務
117	家庭教育 支援チー ム	少子化対策に関連して、女子高生に産や子育てについて意見を聞くと、産が怖い、面倒という声が多い。	情報提供として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
118	家庭教育 支援チー ム	お節介おばさんや、お節介おじさんを増やして行くことが課題。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
119	家庭教育 支援チー ム	教育委員会と民生部が協力することが必要だと思います。	御意見として伺う。	執行部へ申し伝え、庁内連携の在り方について提言してまいりたい。	総務 民生
120	大崎市ス ポーツ少 年団	部活動の地域移行等の課題について、関連する団体で話し合う必要があると考えるが、市は国や県の動向を注視するという。行政の方から声を掛け、懇談会の様なものを立ち上げるべきである。	御意見として伺う。	11月21日に総務常任委員会で調査を実施した。現在は課題整理を行っており、国・県、他自治体の取組等を参考に進めていくとのことであったが、意見交換会等の場の検討もしていくとのことであった。 引き続き、委員会で調査を行っていく。	総務

No.	会場・団体	質問・意見・要望の要旨	会場での回答	調査等の結果, 対応状況 など	所管 委員会等
121	大崎市スポーツ少年団	部活動の地域移行については、2023年から実施するとあるが、自分たちには何の要件の緩和もない。 全ては表題だけで何一つ決まっていない。 予算が大事であるが、今後の中体連のあり方についてクラブチームや支部が苦勞している。是非、意見交換の場を作って、教育委員会また、議会のスポーツ議員連盟で具体的に議論を進めて欲しい。	議会のスポーツ議員連盟は、三本木パークゴルフ場の建設に合わせて発足した。 今後、こうした課題にも取り組んでいけたらよいと考えるので、議会内で提案して行く。	教育委員会に申し伝える。 意見交換の場についても執行部に提言していく。 なお、11月21日に総務常任委員会で調査を実施した。現在は課題整理を行っており、国・県、他自治体の取組等を参考に進めていくとのことであったが、意見交換会等の場の検討もしていくとのことであった。 引き続き、委員会で調査を行っていく	総務
122	大崎市スポーツ少年団	ボランティアでやっている。 具体性がないとやっていけない。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
123	大崎市スポーツ少年団	鳴子では、学校側から情報があるかと聞かれ、学校側も対応しているのかと思う。	令和5年度以降に段階的に移行、地域の指導者等が課題である。	会場での回答のとおり。	総務
124	大崎市スポーツ少年団	市ではスポーツ審議会があると思うが、議論はないのか。	審議会において、課題として議論をしている。	会場での回答のとおり。	—
125	大崎市スポーツ少年団	基本的に、団体競技種目は、複数学校の合同チームで構わないと思うが、個人競技種目は、合同で実施ということはないと思うがどうか。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
126	大崎市スポーツ少年団	スポーツ少年団への加入率が低いことの要因として、送迎の問題がある。	御意見として伺う。	会場での回答のとおり。	総務
127	大崎市スポーツ少年団	教育委員会と、スポーツ少年団、学校の先生と話し合いの場を設けるよう望む。	御意見として伺う。	話し合いの場づくりについて執行部に提言していく。	総務
128	大崎市スポーツ少年団	スポーツ少年団という名称に抵抗があるのではないかと。 子供には運動させたいという親はたくさんいる。スポーツの好きな子を拾い上げるのがスポーツ少年団である。 教育委員会が動かないことには進まない。	御意見として伺う。	執行部に申し伝える。	総務

回収率 71.7% 回答者数114/参加者数159×100

○お住いの地域

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
古 川	55	48.2	鳴子温泉	12	10.5
松 山	14	12.3	田 尻	4	3.5
三本木	10	8.8	そ の 他	0	0.0
鹿島台	10	8.8			
岩出山	9	7.9	合 計	114	100.0

○あなたの性別

区 分	回答者数	構成比(%)
男	97	85.1
女	17	14.9
無回答	0	
合 計	114	100.0

○あなたの年代

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
10 代	0	0.0	60 代	31	27.2
20 代	0	0.0	70 代	60	52.6
30 代	0	0.0	80代以上	8	7.0
40 代	5	4.4	無回答	0	0.0
50 代	10	8.8	合 計	114	100.0

問1 議会報告会の内容について ※今後に希望する内容（別紙参照）

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
わかりやすかった	65	57.0	無回答	2	1.8
どちらともいえない	39	34.2			
わかりにくかった	8	7.0	合 計	114	100.0

問2 意見交換会のテーマとすべき内容（別紙参照）

問3 開催時間について

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
長かった	2	1.8	無回答	2	1.8
ちょうど良かった	92	80.7			
短かった	18	15.7	合 計	114	100.0

問4 今後も参加したいか

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
思う	83	72.8	無回答	2	1.8
思わない	5	4.4			
わからない	24	21.0	合 計	114	100.0

問5 市議会だよりについて

(1) 市議会だよりを読んでいるか

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
読んでいる	83	72.8	無回答	17	14.9
読んでいない	14	12.3	合 計	114	100.0

(2) 市議会だよりのどの部分を読んでいるか (複数回答可)

区 分	回答者数	構成比 (%)	区 分	回答者数	構成比 (%)
一般質問	69	38.5	その他	14	7.8
議案質疑	57	31.9			
委員会活動	39	21.8	合 計	179	100.0

問6 市議会ホームページを見ているか

区 分	回答者数	構成比 (%)	区 分	回答者数	構成比 (%)
よく見ている	10	8.8	無回答	17	14.9
たまに見る	40	35.1			
見ていない	47	41.2	合 計	114	100.0

問7 市議会の議会中継を見ているか

区 分	回答者数	構成比 (%)	区 分	回答者数	構成比 (%)
よく見ている	7	6.1	無回答	17	14.9
たまに見る	24	21.1			
見ていない	66	57.9	合 計	114	100.0

問8 市議会への意見・要望等 (別紙参照)

回収率 80.2% 回答者数69／参加者数86×100

○お住いの地域

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
古 川	51	74.0	鳴子温泉	1	1.4
松 山	1	1.4	田 尻	4	5.8
三本木	3	4.4	そ の 他	1	1.4
鹿島台	4	5.8			
岩出山	4	5.8	合 計	69	100.0

○あなたの性別

区 分	回答者数	構成比(%)
男	45	65.2
女	24	34.8
無回答	0	
合 計	69	100.0

○あなたの年代

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
10 代	0	0.0	60 代	24	34.8
20 代	0	0.0	70 代	12	17.4
30 代	3	4.4	80代以上	0	0.0
40 代	11	15.9	無回答	0	0.0
50 代	19	27.5	合 計	69	100.0

問1 議会報告会の内容について ※今後に希望する内容（別紙参照）

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
わかりやすかった	49	71.0	無回答	3	4.4
どちらともいえない	16	23.2			
わかりにくかった	1	1.4	合 計	69	100.0

問2 意見交換会のテーマとすべき内容（別紙参照）

問3 開催時間について

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
長かった	2	2.9	無回答	1	1.4
ちょうど良かった	63	91.3			
短かった	3	4.4	合 計	69	100.0

問4 今後も参加したいか

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
思う	58	84.1	無回答	1	1.4
思わない	0	0.0			
わからない	10	14.5	合 計	69	100.0

問5 市議会だよりについて

(1) 市議会だよりを読んでいるか

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
読んでいる	52	75.4	無回答	4	5.8
読んでいない	13	18.8	合 計	69	100.0

(2) 市議会だよりのどの部分を読んでいるか (複数回答可)

区 分	回答者数	構成比 (%)	区 分	回答者数	構成比 (%)
一般質問	44	40.4	その他	3	2.7
議案質疑	30	27.5			
委員会活動	32	29.4	合 計	109	100.0

問6 市議会ホームページを見ているか

区 分	回答者数	構成比 (%)	区 分	回答者数	構成比 (%)
よく見ている	1	1.4	無回答	4	5.8
たまに見る	33	47.9			
見ていない	31	44.9	合 計	69	100.0

問7 市議会の議会中継を見ているか

区 分	回答者数	構成比 (%)	区 分	回答者数	構成比 (%)
よく見ている	2	2.9	無回答	4	5.8
たまに見る	21	30.4			
見ていない	42	60.9	合 計	69	100.0

問8 市議会への意見・要望等 (別紙参照)

令和4年 議会報告・意見交換会 参加者アンケート 意見・要望等

問1 議会報告の内容について ○今後に希望する内容について

	居住地域	性別	年齢	意見・要望
1	松山	男性	70代	大崎市の予算の内容について 松山地域に関係のあることについて
2	古川	男性	60代	区長要望は別の場があるので、そちらでお願いしたい。
3	古川	男性	70代	産業振興策（農業関係）
4	鳴子温泉	女性	70代	子育て支援，小学校統合，地域内交通 鳴子温泉地域に住んで幸せと思うためには，どうしたら よいか
5	田尻	男性	70代	議会報告会を開催する時は，もっとPRをして人を集め るようにしてほしい。
6	古川	男性	60代	テーマをもっと幅広くしてほしい
7	古川	男性	70代	市民を誘導する内容（夢） 議員としてどうしようと考えているのか
8	三本木	男性	60代	執行部（部長か課長）の参加もご検討下さい。
9	三本木	男性	70代	時間が足りない
10	三本木	男性	70代	少子高齢化への対応について
11	松山	男性	40代	議会報告・意見交換会について，オンラインでも開催し てほしい。 開催日は3か月前に周知してほしい。
12	鹿島台	男性	70代	市の財政の見直し（財政調整金の減少）
13	古川	男性	50代	時間の無駄なので，質問に対して適切な回答をしてほし いです。
14	古川	男性	50代	質問の回答を明確にお願いします。
15	古川	男性	50代	質問に対し，回答がマッチしていない。
16	古川	男性	50代	仕切りが悪い。一つの意見に対し，回答が長すぎる。
17	古川	女性	70代	子育ての前に若い人達の婚活を先に考えてほしい。
18	古川	女性	70代	女性の参加が少ない。
19	古川	女性	40代	テーマ内容が難しい。もう少し意見を出しやすい，わか りやすい言葉だと良い。
20	栗原市	男性	60代	明るい前向きな意見が出る雰囲気がとても良かったと思 いますので，開かれた意見交換会の継続を。

21	古川	女性	60代	どんな意見でもいいということでしたので、いろいろな意見がでてよかったと思います。
22	古川	女性	40代	様々な立場の方々が、まんべんなく参加して、意見を伝えられる場であってほしい。
23	古川	男性	40代	団体別での議会報告・意見交換会も良いと思うが、ランダムで市民から意見や要望を募るやり方も面白いと思う。
24	古川	男性	60代	団体に関連する内容を詳しく説明してほしい

問2 意見交換会のテーマとすべき内容

	居住地域	性別	年齢	意見・要望
1	古川	男性	60代	議会のしくみ、行政のしくみ
2	古川	女性	60代	展望が持てるものにしてほしい
3	松山	男性	70代	将来の大崎市財政に不安があるので、長期的な健全化にむけて議会で審議いただきたい。
4	松山	男性	60代	具体的事例をもっとあげるべきだと思う。
5	古川	男性	70代	生活に大切な道路、水路等もお願いしたい。
6	古川	男性	70代	環境や食問題、ジェンダー平等、文化について
7	古川	男性	60代	議会、行政のしくみ
8	鳴子温泉	男性	80代	地域の問題や課題
9	鳴子温泉	男性	70代	個人の日常の些細な違和感を問題として捉えるべきではなく、地域の根底をなす基本部分をテーマにすべき。鉄道やバスの中での体験から、何を読み解くのか。些細な問題の違和感から何を生み出すべきか。テーマにもならない事を促すべきではありません。
10	鳴子温泉	男性	60代	様々な内容があると思いますが、よい意見は実現できるようにお願いします。
11	田尻	男性	70代	地域内公共交通のあり方 市内ある史跡の整備と後世への伝承
12	田尻	男性	70代	人口増にするためには、どうすればよいか
13	古川	男性	70代	関心度はそれぞれ違うので、テーマを絞ることは困難と思う
14	古川	男性	60代	コロナ後遺症について 大崎市ってどんなところ
15	三本木	男性	60代	子育て支援策 教育問題、学力向上対策
16	三本木	男性	70代	防災対策（水害対策）

17	三本木	男性	60代	集会所等の区移管について
18	三本木	男性	70代	近況の課題もあっていいのでは。
19	鹿島台	男性	70代	水害問題について
20	鹿島台	男性	70代	内水氾濫について
21	鹿島台	男性	70代	地域産業の育成 自然災害への対応
22	古川	男性	70代	災害対策，廃校利活用問題について
23	古川	男性	60代	情報発信するにあたってのマニュアルについて 身近な問題について 今回のテーマである子育て支援策については，子供の家庭を対象にしたワークショップを開催してほしい。
24	古川	男性	60代	コロナ感染予防対策について
25	古川	男性	60代	学校跡地の利活用について
26	古川	男性	70代	少子高齢化時代の地域コミュニティのあり方について 近所でも顔が見える関係が築きにくくなっている。住みよい地域にしていくには，どういうことがあるのか。
27	古川	男性	50代	年代別でテーマがまるっきり変わるのでは。若い世代も参加できる議会報告・意見交換会を目指して下さい。
28	古川	男性	70代	少子高齢化における地域のあり様について
29	古川	男性	60代	子育て（人口）問題について
30	古川	女性	70代	シャッター通りについて
31	古川	女性	50代	未来ある子供たちに希望ある大崎市とするために
32	古川	女性	50代	駅の有効活用について
33	古川	女性	40代	不登校問題は，ひきこもりの問題，生きにくい社会の問題につながっていくと思いますので，今後も取り上げてください。
34	三本木	男性	70代	大崎市のまちづくりの目標と具体策
35	古川	男性	50代	不登校理解とその対策について
36	岩出山	男性	60代	スポーツによる地域の活性化に向けて
37	古川	男性	40代	市政と業界について
38	古川	男性	50代	企業育成 担い手の確保

39	古川	男性	60代	地域のまちづくり（基盤整備を含む）について 地域建設産業の振興について
40	岩出山	男性	50代	大崎市における工事発注について
41	松山	男性	70代	茂庭家の墓石の倒壊について（文化財の課題） 推進役員不足について 斎場問題について（大崎南部斎場は） 松山高校の跡地利活用について

問 8 市議会への意見・要望等

	居住地域	性別	年齢	意見・要望
1	古川	男性	50代	議員さんの名簿にメールアドレスのある方とない方がいますが、できれば全議員の方のメールアドレスがあるといいです。 また、会派についても、各会派の目指す政策やアピールポイントを掲載してほしいです。
2	古川	男性	60代	今後とも、活発な議論をお願いします。
3	松山	男性	80代	・文化財修繕について 茂庭家 墓所（市 文化財）が、震度5以上の地震があると、その都度倒壊するので、修理費用、公費負担をやめてほしい。毎回、申請するのではなく基金的なものをつくっておくべきだ。 ・議会報告会 執行部も同席させるべきだ。執行部でないと回答が難しい。
4	松山	男性	70代	・市議会だより見やすい（文字も大きい、写真も多いなど） ホームページは見えていないが、市のホームページを使いやすく改善してほしい。探しているものにたどりつくまで時間がかかる。古い情報が多く残っている。市のホームページから市施設の仮予約できると助かる。仙台市では、20年前から使われている。 ・議会広報の印刷は大崎市に納税している業者でしょうか。 市広報の印刷業者の本社は栗原市です。 大崎市内の事業者で技術的に無理なのであれば、技術向上のための機械導入などを支援し、市内事業者の育成を進めてほしい。新たに起業者育成する事業はあるが、既存の業者の足腰を強くし、競争に打ち勝つ力をつけるように支援願う。
5	松山	男性	70代	議員は地域エゴを無くして、市全体的な考えを持って活動していただきたい。
6	松山	男性	70代	出席議員の対応が大変良く、理解できた。
7	松山	男性	70代	将来の大崎市財政に不安があるので、長期的な健全化にむけて議会で審議いただきたい。
8	松山	男性	70代	イエスマンの議員ではなく、行政をしっかりと指導いただきたい。様々なスキームの不具合も多いので改正いただきたい。
9	松山	男性	50代	テーマももっと絞ってやるとなお良い。
10	松山	男性	60代	何か一つでも説明会において、議員の方々がやろうというものがあるといい。

11	古川	男性	70代	大崎市民を考え、行動するのは大変かと思いますが、全力で議員活動願います。
12	古川	男性	70代	ホームページや議会中継も見るようにしたいと思います。
13	古川	男性	70代	議員と一緒に街を歩こう 犬のフン、ごみだらけ、草ぼうぼう、ドブ臭さなど、街の汚さがわかります。 ・意見交換の時間をもっと長くしてほしい。
14	鳴子温泉	男性	80代	・合併前の未解決課題（各町）の解決を逐次取り上げ、解決をお願いしたい。 ・JR宮交バスの到着時の場所に問題があるので、観光客に対して気遣いをお願いしたい。
15	鳴子温泉	男性	70代	上部機構への決裁依存から脱却し、我が事は、我々が決めるといふ本質を見つめましょう
16	鳴子温泉	男性	60代	議会での論議の中で、実務的な細かい内容を質問する機会がよくありますが、事前に担当課で確認すれば済む話も多い。議会での議論は、ふかんの、大局的に行政の指針となるような質問も期待します。
17	田尻	男性	70代	国への要望、意見書の提出をすべき。（地方分権になっていない）
18	三本木	男性	70代	三本木地域の乗り合いタクシーを、乗り合いバスで古川地域までを実行する予定はありますか
19	三本木	男性	70代	大崎市として、住み良い地域にする事は、あと何年かかりますか。
20	三本木	男性	70代	・30年間、三本木地域に住んでいるが、住みよい町が、だんだん悪くなっている。 余震が続く中、道路の段差等が多いですが、職員は見回っているのか。自転車で走るとかなりのショックで乗りづらいです。
21	鹿島台	男性	70代	ウイズコロナにおけるイベント開催のやり方の明細を作れないか
22	鹿島台	男性	70代	議会ウェブサイトの利用状況の調査が必要と思われる。
23	古川	男性	50代	今日の議会報告・意見交換会は、高倉地区の大雨に対する話で終わりました。この内容でしたら、高倉地区で意見交換会をしてください。
24	古川	男性	60代	議会に興味をもっている市民が少ないように思っていますが、人の集まる施設にモニターテレビ等で、議会風景を流されてもよいのでは。（すでに実施しているのであれば知識不足です）施設としては、図書館、あすもです。
25	古川	男性	60代	学校跡地利活用について、地元で提言、提案を求められているが、様々な意見を取りまとめるのは苦勞であり、時間もかかる。 岩出山地域の例をみても、せっかくの提言が予算がないなどの理由で、一向に具現化されていない。単なる行政側の時間かせぎ、市民に対する裏切り行為である。このようなシステムは、いっそのこと廃止すべきだと思う。議会としても、行政に対し意見をのべ、検証すべきであると思う。
26	古川	女性	70代	選挙権が18歳からになりましたが、本市の投票率はどうか。
27	古川	男性	50代	災害後だったので、水害がメインテーマになった。時間もあるけど、テーマについての意見交換ができなかったのが残念。

28	古川	男性	40代	水害がメインテーマで、同じ質問になっていた。
29	古川	男性	70代	議会だよりが詳細でわかりやすい。
30	岩出山	女性	40代	市民の声を受け止め、市民の味方でいて下さい。頼りにしています。
31	岩出山	女性	60代	一局集中型の市ではなく、緑豊かな岩出山にも若い人が楽しく暮らせる施設を作ってほしいです。土地、空き家、沢山あると思います。若い人たちに無償で提供してあげるくらいがいいです。
32	岩出山	男性	60代	積極的な活動を継続していただきたい。
33	古川	女性	60代	これから先10年後、20年後、息子が1人になった時に、税金が払っていけるか心配であります。
34	古川	女性	70代	ウクライナに米を送ってはどうでしょうか。
35	古川	女性	70代	田んぼ沿いに犬のフンがある。散歩する時に、フン取り用のバックを持っているだけなので、きちんと取ってほしい。
36	古川	女性	60代	小麦粉の価格が高くなっています。米粉をパンにして、学校給食に提供してほしい。
37	古川	女性	50代	商売個々の体力がなくなっています。実際に動くにも、限界があり助けてほしいと思っております。
38	古川	女性	50代	田んぼが出来なくても、生活できるようになればいい。
39	古川	男性	60代	地域間競争に勝てるよう、大崎市のポテンシャルアップを交流センター内での、商店街のみならず、情報提供の場を。
40	古川	男性	70代	今後も継続して、意見交換会を開催してほしい。
41	古川	男性	40代	市政だよりが見にくい。市ウェブサイトには報告や方針等が記載されていますが、SNSを使ったほうがより広く認知できると思う。